

施策の概要(PLAN)			主管課	市民協働・男女参画推進課			
長期総合計画の体系	安全・安心で、いきいきとしたまちをめざして			関係課	秘書広報課、防災危機管理課、地域安全課、文化スポーツ課、障がい者支援課、生活支援課、環境政策課、公民館		
No. 施策名	1 地域社会における新たな関係をめざす						
施策の分野	1 地域活動・参加と協働	2 地域の拠点	3	4	5		
施策の展開	<p>市民と行政が相互に協力しあい、地域活動に参加することによって、地域社会における市民と行政の新たな関係の構築を進めます。</p> <p>地域の自立性や自主性を尊重しながら、地域での協力関係や信頼関係をさらに高めていくための拠点として、地域センター等がそれぞれの施設に応じた多様な機能を発揮し、効率的な活用を目指します。</p>						

施策の成果指標と実績(DO)									
			単位	基準年度 平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
成果指標	①	市民活動支援センターの登録団体数	目標	団体	—	116	118	120	120
			実績	団体	115	117	117		
			進捗率	%	—	97.5%	97.5%		
	②	市民活動支援センターの利用者数	目標	人	—	10,000	10,000	10,000	10,000
			実績	人	10,017	9,894	9,584		
			進捗率	%	—	98.9%	95.8%		
	③	地域連携のための会議等の開催	目標	地区	—	2	3	3	4
			実績	地区	1	2	3		
			進捗率	%	—	50.0%	75.0%		
	④	利用者数 (地域センター、元気村の合計)	目標	人	—	790,000	790,000	790,000	790,000
			実績	人	796,287	781,991	786,510		
			達成率	%	—	99.0%	99.6%		

施策内事業の集計		単位	基準年度 平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総コスト計		千円	374,596	397,692	377,989		
事業費		千円	335,083	357,633	338,008		
人件費		千円	39,513	40,058	39,981		

施策の成果についての総括(CHECK)				
成果	目標達成度合い	一定の成果が上がっている	理由	市民活動支援センターと連携して新たな仕組みを構築し、地域活動の促進が図れたこと等から一定の成果が上がっていると評価しました。
	<p>◆「小平市協働の推進に関する指針」の改定に伴い、「市民活動支援公募事業」及び「いきいき協働事業」については、これまでの事業を検証し、次のステップにつなげるため募集を休止しました。改定した指針では、協働の基盤づくりから、地域課題等の解決のための実践的な協働を推進していく方向性となりました。また、地域の課題解決に向け、市民と市民活動団体など、地域の活動をつなぐ新たな取組として、市民活動ポータルサイトを開設し、市民活動人材バンク「こだいら人財の森」事業を開始しました。</p> <p>◆市内の各大学の特色を生かした分野で連携を強化していけるよう武蔵野美術大学、津田塾大学、白梅学園大学・白梅学園短期大学と包括連携協定を締結しました。</p> <p>◆平成30年度においては、地域センター19館及び小平元気村おがわ東の利用人数が増加し、多様な担い手が「地域の拠点」として活用しています。</p> <p>◆学園西町地区、小川西町地区のほか、新たに学園東町地区においても地域連携のための会議が行われました。</p>			
課題	<p>◆市民活動支援センターとともに、多様な担い手が協働して自主的・主体的なまちづくりに取り組めるよう、「こだいら人財の森」を広く周知させ、市民や市民活動団体等及び市との協力・連携を促進していく必要があります。</p> <p>◆各施設に求められる役割を尊重しつつ、地域の拠点として機能及びサービスの向上並びに効率的な運営に向けた取組を行う必要があります。</p>			

施策の方向性(ACTION)										
事務事業の動向	拡大	3本	維持	12本	改善	0本	縮小	3本	廃止	1本
施策の方向性	<p>◆市民等の自主的・自立的な地域活動を支援するため、地域活動を行っている団体や関連機関が連携して、顔の見える地域関係が構築できる仕組みづくりを引き続き進めていきます。</p> <p>◆平成30年度に改定した「小平市協働の推進に関する指針」に基づき、市の提示型公募事業の実施及び行政提案型いきいき協働事業の提案募集を行い、協働により市の課題の解決を図る取組を進めていきます。</p> <p>◆市民活動と市民をつなげる「こだいら人財の森」事業を推進し、市民活動のすそ野の拡大を図っていきます。</p> <p>◆地域コミュニティの機能を担う施設として、公共施設の設置目的を尊重しつつ、施設の利用形態や利用状況を把握し、「地域の拠点」として様々な側面から施設の今後の方向性を検討していきます。</p>									

平成30年度事務事業評価結果一覧

「*」印は、この施策が“サブ施策”となっている事業(この施策に2次的に関与している事業)

番号	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	令和元年度 の動向	施策の 分野
1	市民協働・男女参画推進課	自治会助成事業	29,532	25,788	3,744	縮小	1
2	市民協働・男女参画推進課	市民まつり事業	11,392	7,648	3,744	維持	1
3	市民協働・男女参画推進課	地域センター維持管理事業	272,579	255,509	17,070	縮小	2
4	市民協働・男女参画推進課	小平元気村おがわ東維持管理事業	35,027	30,535	4,492	拡大	2
5	市民協働・男女参画推進課	NPO・ボランティア活動促進事業	4,065	322	3,744	拡大	1
6	市民協働・男女参画推進課	市民活動支援センター事業	19,872	16,877	2,995	縮小	1
7	市民協働・男女参画推進課	地域自治推進事業	887	138	749	維持	1
8	市民協働・男女参画推進課	大学連携推進事業	304	229	75	拡大	1
9	秘書広報課	表彰事業	2,945	924	2,021	維持	1
10	生活支援課	社会を明るくする運動事業	1,386	38	1,348	維持	1
11	文化スポーツ課	* 国際交流事業				維持	1
12	文化スポーツ課	* 学校施設スポーツ開放事業				維持	1
13	文化スポーツ課	* 地域のスポーツ振興に伴う器具貸出事業				維持	1
14	防災危機管理課	* 防災関係団体の育成事業				維持	2
15	防災危機管理課	* 消防団関係運営事業				維持	1
16	地域安全課	* 防犯対策事業				維持	1
17	障がい者支援課	* ペアレントプログラム及びペアレントメンター事業				維持	1
18	環境政策課	* 環境保全推進事業〔小平らしい生き物の調査事業〕				廃止	1
19	公民館	* 公民館共通管理事業				維持	2
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
合計			377,989	338,008	39,981		

1 地域社会における新たな関係をめざす

事務事業評価票

事務事業コード	022502	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	自治会助成事業					
担当課	市民協働・男女参画推進課		事業開始年度	昭和49年度		[実施の形態]	補助		[実施の根拠]	市要綱等 [主体の多様性] 市のみ実施		
目的	市との円滑な協力関係を推進し、自主的な活動を支援する。											
対象	自治会							対象数 368自治会				
平成30年度の事業内容	327自治会に事務交付金、4,192灯分の電気料補助、防犯灯設置数は新規283基・建替4基。維持管理費補助は1,327灯分及び掲示板設置数3基分に対して補助金を交付し、事務交付金については3,158,500円を交付した。											
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
総コスト(千円)	25,229	28,186	29,532	① 事務交付金 交付	目標値	370	372	368	おおむね達成			
経費	事業費	21,538	24,440		25,788	実績値	332	335				327
	人件費	3,692	3,746	3,744	(単位) 件	達成率	89.7%	90.1%	88.9%			
財源	国都支出金	0	0	5,694	② 単位あたり コスト	千円	* 21	* 21	* 21	効率性		
	その他	0	0	2,500		増減率	—	-0.6%	1.7%	変わらず		
一般財源	25,229	28,186	21,338	令和元年度の 予算・事業	縮小	自治総合センターコミュニティ助成金の減による。						
職員・再任用(人)	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00						

事務事業コード	022503	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	市民まつり事業					
担当課	市民協働・男女参画推進課		事業開始年度	昭和51年度		[実施の形態]	補助		[実施の根拠]	市要綱等 [主体の多様性] 市のみ実施		
目的	市民(各種団体等)がそれぞれの立場で参加できるよう、実行委員会の活動を支援する。											
対象	市民							対象数 193,588人				
平成30年度の事業内容	市民まつり実行委員会が市からの補助金及び協賛金の範囲内で企画運営し、10月21日(日)午前9時30分～午後4時30分まで、あかしあ通りにて実施し、来場者は約13万人であった。											
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
総コスト(千円)	11,255	11,551	11,392	① 実行委員会 参加人数	目標値	6,000	6,000	6,000	おおむね達成			
経費	事業費	7,563	7,805		7,648	実績値	5,950	2,453				5,985
	人件費	3,692	3,746	3,744	(単位) 人	達成率	99.2%	40.9%	99.8%			
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	2	5	2	効率性		
	その他	0	0	0		増減率	—	149.0%	-59.6%	上がった		
一般財源	11,255	11,551	11,392	令和元年度の 予算・事業	維持							
職員・再任用(人)	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00						

事務事業コード	022504	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	地域センター維持管理事業					
担当課	市民協働・男女参画推進課		事業開始年度	昭和58年度		[実施の形態]	直営		[実施の根拠]	市条例 [主体の多様性] 市のみ実施		
目的	地域センターの安全性・快適性を確保し、市民相互の交流及び市民福祉の向上を図るための場を提供する。											
対象	地域センター							対象数 19館				
平成30年度の事業内容	定期的メンテナンス、修繕及び備品の購入などの維持管理を行い、685,913人の利用があった。											
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
総コスト(千円)	275,455	292,345	272,579	① 開館日数	目標値	335	335	335	達成			
経費	事業費	258,622	275,263		255,509	実績値	335	335				335
	人件費	16,833	17,082	17,070	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
財源	国都支出金	18,200	1,400	3,407	② 単位あたり コスト	千円	822	873	814	効率性		
	その他	2,207	40,298	23,702		増減率	—	6.1%	-6.8%	上がった		
一般財源	255,049	250,647	245,470	令和元年度の 予算・事業	縮小	太陽光発電装置設置工事を実施しないことによる減。						
職員・再任用(人)	2.28	0.00	2.28	0.00	2.28	0.00						

事務事業評価票

事務事業コード	022505	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	小平元気村おがわ東維持管理事業								
担当課	市民協働・男女参画推進課		事業開始年度	平成15年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	市条例	[主体の多様性]	市のみ実施				
目的	小平元気村おがわ東の安全性・快適性を確保し、市民の福祉・自主的な活動・交流を促進する。														
対象	小平元気村おがわ東								対象数	1館					
平成30年度の事業内容	定期的メンテナンス、修繕及び備品の購入などの維持管理を行い、100,597人の利用があった。														
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト			H28年度	H29年度	H30年度	評価					
総コスト(千円)	34,912			37,384			35,027			① 開館日数	目標値	353	353	353	達成
	30,394			32,837			30,535				実績値	352	350	353	
	4,518			4,546			4,492				(単位) 日	達成率	99.7%	99.2%	
経費	0			0			0			② 単位あたり コスト	千円	99	107	99	効率性 上がった
	888			916			941				増減率	-	7.7%	-7.1%	
	34,024			36,468			34,086				令和元年度の 予算・事業	拡大		トイレ洋式化修繕を実施することによる増	
職員・再任用(人)	0.12	1.00	0.12	1.00	0.12	1.00									

事務事業コード	022511	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	NPO・ボランティア活動促進事業								
担当課	市民協働・男女参画推進課		事業開始年度	平成12年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	市要綱等	[主体の多様性]	民間でも実施				
目的	ボランティア活動や市民活動を支援し、地域の活性化を図るとともに、協働の推進を図る。														
対象	市民活動団体及び市民								対象数	193,588人					
平成30年度の事業内容	小平市協働の推進に関する指針の改定にともない、市民活動支援公募事業及びいきいき協働事業についての募集を休止し、今後の市民活動の支援のあり方や協働方法について、市民活動団体を交えての意見交換会を含め、検証を行った。また、職員向けの研修会と市民向けの協働の講演会を開催するとともに、協働事業フォローアップ交流会を行い、事業の振り返りを行った。														
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト			H28年度	H29年度	H30年度	評価					
総コスト(千円)	4,873			4,955			4,065			① 市民活動支 援公募事業 の応募件数	目標値	10	10	0	-
	1,182			1,209			322				実績値	10	14	0	
	3,692			3,746			3,744				(単位) 件	達成率	100.0%	140.0%	
経費	0			0			0			② 単位あたり コスト	千円	* 304	* 224	-	効率性 -
	0			0			0				増減率	-	-26.2%	-	
	4,873			4,955			4,065				令和元年度の 予算・事業	拡大		「小平市協働の推進に関する指針」の改定に基づき、提示型公募事業として実施する	
職員・再任用(人)	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00									

事務事業コード	022512	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	市民活動支援センター事業								
担当課	市民協働・男女参画推進課		事業開始年度	平成22年度		[実施の形態]	その他	[実施の根拠]	市条例	[主体の多様性]	国・都でも実施				
目的	市民活動の拠点として、市民の自主的な社会貢献活動を支援する。														
対象	市民活動団体及び市民								対象数	193,588人					
平成30年度の事業内容	指定管理者であるNPO法人小平市民活動ネットワークにおいて、会議室等の貸出し、各種学習会の開催、市民活動情報紙「あすびあ通信」及び市民活動団体データ集「むすぶ」の発行、NPOフェスタin元気村2018の開催、「なんでも相談室」等の業務を行ったほか、市民活動ポータルサイトを開設し、市民活動と市民をつなげる「こだいら人財の森」事業を開始した。														
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト			H28年度	H29年度	H30年度	評価					
総コスト(千円)	17,130			17,556			19,872			① 来場者・学 習会等参加 者	目標値	8,800	10,000	10,000	おおむね達成
	14,177			14,559			16,877				実績値	10,017	9,894	9,574	
	2,953			2,997			2,995				(単位) 人	達成率	113.8%	98.9%	
経費	0			0			804			② 単位あたり コスト	千円	2	2	2	効率性 下がった
	0			0			0				増減率	-	3.8%	17.0%	
	17,130			17,556			19,068				令和元年度の 予算・事業	縮小		「こだいら人財の森」システム構築が完了したことにもなう減	
職員・再任用(人)	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00									

1 地域社会における新たな関係をめざす

事務事業評価票

事務事業コード	022525	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	地域自治推進事業				
担当課	市民協働・男女参画推進課		事業開始年度	平成25年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	その他 [主体の多様性] 市のみ実施		
目的	地域が地域を担う仕組みである地域自治の推進										
対象	学園西町地区他							対象数 2地区			
平成30年度の事業内容	自治会、商店会、民生委員、青少年対策地区委員会、PTA、高齢クラブなどの地域活動を行っている団体や、学校、地域包括支援センター、社会福祉協議会などの関連機関が連携した学園西町地区の地域連絡会を3回開催した。また、小平市の西側地区では、地域で活動している方や大学と連携し、地域防災やお祭り等で地域の連携を進めたほか、新たに学園東町地区においても地域連絡会を立ち上げた。										
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト			H28年度	H29年度	H30年度	評価	
総コスト(千円)	940	923	887	① 地域連絡会等	目標値	5	5	5	おおむね達成		
経費	事業費	202	174		138	実績値	4	6		4	
	人件費	738	749	749	(単位) 回	達成率	80.0%	120.0%	80.0%		
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	235	154	222	効率性	
	その他	0	0	0		増減率	—	-34.5%	44.0%	下がった	
一般財源	940	923	887	令和元年度の予算・事業			維持				
職員・再任用(人)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00					

事務事業コード	022526	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	大学連携推進事業				
担当課	市民協働・男女参画推進課		事業開始年度	平成25年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	その他 [主体の多様性] 市のみ実施		
目的	市内の大学における相互の資源を活用した連携を促進し、地域社会の発展及び人材の育成を図る。										
対象	小平市内の大学等							対象数 7校			
平成30年度の事業内容	連絡調整会議を3回実施し、大学間の情報共有を行ったほか、各大学の特色を生かした分野で連携を強化していくため、武蔵野美術大学、津田塾大学、白梅学園大学・白梅学園短期大学と包括連携協定を締結した。また、学生と地域との交流イベント「まちで楽しむ」を開催したほか、地域で活動する学生団体の支援を行った。										
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト			H28年度	H29年度	H30年度	評価	
総コスト(千円)	157	264	304	① 連絡調整会議	目標値	3	3	3	達成		
経費	事業費	84	189		229	実績値	3	3		3	
	人件費	74	75	75	(単位) 回	達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	52	88	101	効率性	
	その他	0	0	0		増減率	—	67.6%	15.3%	下がった	
一般財源	157	264	304	令和元年度の予算・事業			拡大		大学連携協議会主催事業の実施、学生団体の支援にともなう増		
職員・再任用(人)	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00					

事務事業コード	020302	会計	一般	予算科目	2-1-2	事業名	表彰事業				
担当課	秘書広報課		事業開始年度	昭和40年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	市要綱等 [主体の多様性] 国・都でも実施		
目的	表彰または感謝の意を表する。										
対象	市の自治振興に対し又は地域の振興に対し特に功労のあった者							対象数 193,588人			
平成30年度の事業内容	表彰状贈呈件数 101件 感謝状贈呈件数 65件 (10月1日(月)、平成30年度表彰式で贈呈)										
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト			H28年度	H29年度	H30年度	評価	
総コスト(千円)	3,121	3,114	2,945	① 表彰・感謝状贈呈件数	目標値				—		
経費	事業費	1,127	1,091		924	実績値	173	176		166	
	人件費	1,993	2,023	2,021	(単位) 件	達成率	—	—	—		
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	18	18	18	効率性	
	その他	0	0	0		増減率	—	-1.9%	0.3%	変わらず	
一般財源	3,121	3,114	2,945	令和元年度の予算・事業			維持				
職員・再任用(人)	0.27	0.00	0.27	0.00	0.27	0.00					

事務事業評価票

10	事務事業コード	030908	会計	一般	予算科目	3-1-1	事業名	社会を明るくする運動事業	*メイン(サブ施策はNo.2)				
	担当課	生活支援課		事業開始年度	平成4年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	法(義務なし) [主体の多様性] 国・都でも実施			
	目的	実施委員会の運動に対して支援することにより、犯罪や非行のない明るい社会を築く。											
	対象	社会を明るくする運動小平市実施委員							対象数	20団体			
	平成30年度の事業内容	駅頭広報宣伝活動(7月2日(月))の実施や、市民まつりのパレード(10月21日(日))に参加し、運動の趣旨の呼びかけや啓発物資の配布などを行った。また、作文集「ひまわり」の作成、配付を行った。											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
	総コスト(千円)	1,524	1,414	1,386	① 実施委員会構成機関・団体	目標値				-			
	経費	事業費	195	66		38	実績値	20	20				20
	費	人件費	1,329	1,349	1,348	(単位) 団体	達成率	-	-	-	効率性 変わらず		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	76	71	69			
その他		0	0	0	増減率		-	-7.2%	-2.0%				
一般財源	1,524	1,414	1,386	令和元年度の 予算・事業	維持								
職員・再任用(人)	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18	0.00							

11	事務事業コード	024505	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	国際交流事業	*サブ(メイン施策はNo.4)				
	担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	平成2年度		[実施の形態]	補助	[実施の根拠]	市要綱等 [主体の多様性] 民間でも実施			
	目的	地域における外国人と市民の交流機会を増やす。											
	対象	市民							対象数	193,588人			
	平成30年度の事業内容	小平市国際交流協会へ管理運営費の一部及び事業費の一部を補助した。小平市国際交流協会登録のボランティアは206人											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
	総コスト(千円)	15,110	15,252	15,006	① 事業数	目標値	26	26	27	おおむね達成			
	経費	事業費	13,855	13,978		13,733	実績値	26	26				26
	費	人件費	1,255	1,274	1,273	(単位) 事業	達成率	100.0%	100.0%	96.3%	効率性 変わらず		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	581	587	577			
その他		3,000	3,000	3,000	増減率		-	0.9%	-1.6%				
一般財源	12,110	12,252	12,006	令和元年度の 予算・事業	維持								
職員・再任用(人)	0.17	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00							

12	事務事業コード	101104	会計	一般	予算科目	10-5-1	事業名	学校施設スポーツ開放事業	*サブ(メイン施策はNo.11-3)				
	担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	昭和50年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	市条例 [主体の多様性] 市のみ実施			
	目的	小学校の校庭および中学校の体育館を地域に開放し、地域のスポーツ活動を推進する。											
	対象	開放団体							対象数	180団体			
	平成30年度の事業内容	小学校全19校の体育館・校庭と第一中学校の体育館を平日の夜間と土日に市民スポーツ団体(180団体)に開放し、地域のスポーツ活動の推進を図った。											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
	総コスト(千円)	9,266	9,528	9,071	① 登録団体数	目標値	200	200	200	おおむね達成			
	経費	事業費	7,790	8,030		7,574	実績値	183	190				180
	費	人件費	1,477	1,498	1,497	(単位) 団体	達成率	91.5%	95.0%	90.0%	効率性 変わらず		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	51	50	50			
その他		0	0	0	増減率		-	-1.0%	0.5%				
一般財源	9,266	9,528	9,071	令和元年度の 予算・事業	維持								
職員・再任用(人)	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00							

1 地域社会における新たな関係をめざす

事業事業評価票

13	事務事業コード	101106	会計	一般	予算科目	10-5-1	事業名	地域のスポーツ振興に伴う器具貸出事業 *サブ(メイン施策はNo.11-3)					
	担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	昭和57年度		[実施の形態]	直営 [実施の根拠] 市要綱等 [主体の多様性] 市のみ実施					
	目的	地域活動(スポーツ大会等)に必要な備品を貸出し、スポーツ・レクリエーションを通じた地域活動の振興に供する。											
	対象	市民						対象数	193,588人				
	平成30年度の事業内容	市民サークル等の地域活動(スポーツ大会等)に対し、行事用テント、運動会用品、放送器具等の備品類を貸出した。平成30年度の貸出器具点数は9,598点であった。											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト			H28年度	H29年度	H30年度	評価		
	総コスト(千円)	1,937	2,138	1,891	① 貸出件数	目標値	180	180	180	おおむね達成			
	経費	事業費	91	265		19	実績値	165	178			167	
		人件費	1,846	1,873	1,872	(単位) 件	達成率	91.7%	98.9%	92.8%	効率性 上がった		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	12	12	11			
		その他	0	0	0		増減率	—	2.3%	-5.7%			
		一般財源	1,937	2,138	1,891	令和元年度の 予算・事業	維持						
	職員・再任用(人)	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00						

14	事務事業コード	022706	会計	一般	予算科目	2-1-9	事業名	防災関係団体の育成事業 *サブ(メイン施策はNo.2)					
	担当課	防災危機管理課		事業開始年度	昭和59年度		[実施の形態]	直営 [実施の根拠] 法(義務あり) [主体の多様性] 市のみ実施					
	目的	自主防災組織等における防災に係る知識や技術の習得と、救助資器材・食糧等の備蓄の促進											
	対象	自主防災組織(地域住民が自主的な防災活動を行う組織)等						対象数	70組織				
	平成30年度の事業内容	自主防災組織が新規に4組織結成され、また、資器材の整備費用等に対する補助金を63件交付した。組織間の連携を目的とした防災組織地域交流を2月17日(日)に実施した。											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト			H28年度	H29年度	H30年度	評価		
	総コスト(千円)	9,944	8,315	8,953	① 自主防災組織 交流会実施回数	目標値	1	1	1	達成			
	経費	事業費	5,071	3,370		4,012	実績値	1	1			1	
		人件費	4,873	4,945	4,941	(単位) 回	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 変わらず		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	* 148	* 150	* 150			
		その他	1,700	0	500		増減率	—	1.5%	-0.1%			
		一般財源	8,244	8,315	8,453	令和元年度の 予算・事業	維持						
	職員・再任用(人)	0.66	0.00	0.66	0.00	0.66	0.00						

15	事務事業コード	090102	会計	一般	予算科目	9-1-2	事業名	消防団関係運営事業 *サブ(メイン施策はNo.2)					
	担当課	防災危機管理課		事業開始年度	昭和22年度		[実施の形態]	直営 [実施の根拠] 法(義務なし) [主体の多様性] 市のみ実施					
	目的	火災等災害発生時に即応できる技術と体制を維持する。											
	対象	小平市消防団員(全9分団)						対象数	9分団				
	平成30年度の事業内容	自治会・自主防災組織の要請による防災訓練での指導及び地域祭り等行事に参加し、警戒警備を行った。											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト			H28年度	H29年度	H30年度	評価		
	総コスト(千円)	78,029	101,709	95,960	① 活動日数	目標値	365	365	365	達成			
	経費	事業費	69,170	92,718		86,976	実績値	365	365			365	
		人件費	8,860	8,990	8,984	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 上がった		
	財源	国都支出金	375	4,250	9,178	② 単位あたり コスト	千円	* 171	* 186	* 160			
		その他	1,010	16,348	16,909		増減率	—	8.7%	-13.8%			
		一般財源	76,644	81,111	69,873	令和元年度の 予算・事業	維持						
	職員・再任用(人)	1.20	0.00	1.20	0.00	1.20	0.00						

事務事業評価票

事務事業コード	024102-1	会計	一般	予算科目	2-1-9	事業名	防犯対策事業	*サブ(メイン施策はNo.2)		
担当課	地域安全課		事業開始年度	平成16年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	都条例(義務なし) [主体の多様性] 国・都でも実施	
目的	地域における自主的な防犯活動への支援を行う。									
対象	自主防犯組織(地域住民が自主的な防犯活動を行う組織)						対象数	23組織		
平成30年度の事業内容	自主防犯組織への支援として、腕章の貸出しや地域防犯講座を3月6日(水)に実施した。また、必要に応じて自主防犯組織の防犯パトロールに同行し、情報の共有を図った。									
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価	
総コスト(千円)	4,844	4,601	4,590	① 防犯講座 実施回数	目標値	1	1	1	達成	
経費	事業費	2,408	2,128		2,119	実績値	1	1		1
費	人件費	2,436	2,472	2,471	(単位) 回	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	* 850	* 730	* 701	効率性 変わらず
	その他	0	0	0		増減率	—	-14.1%	-4.0%	
一般財源	4,844	4,601	4,590	令和元年度の 予算・事業	維持					
職員・再任用(人)	0.33	0.00	0.33	0.00	0.33	0.00				

事務事業コード	031370	会計	一般	予算科目	3-1-5	事業名	ペアレントプログラム及びペアレントメン ター事業	*サブ(メイン施策はNo.9-7)	
担当課	障がい者支援課		事業開始年度	平成29年度		[実施の形態]	委託	[実施の根拠]	その他 [主体の多様性] 民間でも実施
目的	子どもの発達が気になる保護者の悩みを解消する。								
対象	発達障がいの子どものもつ保護者						対象数		
平成30年度の事業内容	委託により、ペアレントプログラム講座(全6回)を実施した。保護者参加者数21人 保育園、幼稚園等支援機関参加者数17人 また、発達障がい啓発講演会を開催した。参加者数111人								
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価
総コスト(千円)		2,472	2,491	① 保護者 参加者数	目標値		24	24	おおむね達成
経費	事業費	974	994		実績値		25	21	
費	人件費	1,498	1,497	(単位) 人	達成率		104.2%	87.5%	
財源	国都支出金	0	0	② 単位あたり コスト	千円		99	119	効率性 下がった
	その他	0	0		増減率		—	20.0%	
一般財源		2,472	2,491	令和元年度の 予算・事業	維持				
職員・再任用(人)		0.20	0.00	0.20	0.00				

事務事業コード	040910-2	会計	一般	予算科目	4-1-6	事業名	環境保全推進事業[小平らしい生き物の調 査事業]	*サブ(メイン施策はNo.7)	
担当課	環境政策課		事業開始年度	平成30年度		[実施の形態]	委託	[実施の根拠]	法(義務なし) [主体の多様性] 民間でも実施
目的	生物多様性の保全の重要性を普及啓発する。								
対象	市民・市民団体・事業者						対象数	193,588人	
平成30年度の事業内容	市内の樹林地2か所、用水1か所での生き物調査(春・秋)、自然観察会「小平の用水×雑木林ガイドウォーク」(参加者25名)、講演会「こだいらの生物多様性」(参加者25名)を実施し、これらの事業を通して、得られた情報を基に、リーフレット「こだいらの生きものを探しにいこう!」を20,000部発行し、小中学校の児童・生徒や市のイベントで配布した。								
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価
総コスト(千円)			3,243	① 調査・講座 等実施回数	目標値			4	達成
経費	事業費		997		実績値			4	
費	人件費		2,246	(単位) 人	達成率			100.0%	
財源	国都支出金		0	② 単位あたり コスト	千円			811	効率性 —
	その他		997		増減率			—	
一般財源			2,246	令和元年度の 予算・事業	廃止	平成30年度いきいき協働事業として実施			
職員・再任用(人)			0.30	0.00					

1 地域社会における新たな関係をめざす

事業事業評価票

19	事務事業コード	101301	会計	一般	予算科目	10-4-5	事業名 公民館共通管理事業			*サブ(メイン施策はNo.11-1)			
	担当課	公民館		事業開始年度	昭和24年度		[実施の形態]	直営		[実施の根拠] 法(義務なし) [主体の多様性] 国・都でも実施			
	目的	学習環境の整備・充実を図り、学習活動や地域活動の活性化につながる機会を提供する。											
	対象	市民団体及び市外団体等								対象数			
	平成30年度の事業内容	公民館全11館（中央館1館、分館10館）の定例業務として、機器等の保守・点検、施設等の維持管理、施設修繕または改良・改修工事等の実施により、安全・安心及び快適に利用できるよう施設環境を整備したほか、部屋の貸出を行った。平成30年度の利用団体数は3,592団体、利用者数は495,669人であった。											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト			H28年度	H29年度	H30年度	評価		
	総コスト(千円)	223,933	207,789	203,308	① 開館日数	目標値	309	308	314	達成			
	経費	事業費	194,401	177,821		173,360	実績値	309	308				314
		人件費	29,532	29,968	29,948	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 変わらず		
	財源	国都支出金	19,029	5,070	4,178	② 単位あたり コスト	千円	725	675	647			
その他		3,704	10,525	3,731	増減率		—	-6.9%	-4.0%				
	一般財源	201,200	192,194	195,399	令和元年度の 予算・事業	維持							
	職員・再任用(人)	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00						

施策の概要(PLAN)			主管課	防災危機管理課			
長期総合計画の体系	安全・安心で、いきいきとしたまちをめざして			関係課	地域安全課、生活支援課、高齢者支援課、障がい者支援課、都市計画課		
No. 施策名	2 安全で安心できるまちをめざす						
施策の分野	1 防犯	2 防災	3	4	5		
施策の展開 <長期総合計画P14>	各関係機関・市民・行政が連携しそれぞれの役割を十分に果たすことにより、安全で安心できるまちの実現をめざします。 地域の市民・事業者を守るため、また少しでも災害を減らすために行政をはじめ市民・各関係機関が相互に協力しあい、市民から信頼されるまちをめざします。						

施策の成果指標と実績(DO)			単位	基準年度 平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標	① 自主防災組織の組織数	目標	組織	—	65	67	69	71
		実績	組織	63	66	70		
		進捗率	%	—	93.0%	98.6%		
	② 総合防災訓練参加人数	目標	人	—	1,400	1,400	1,400	1,400
		実績	人	1,475	1,528	1,393		
		達成率	%	—	109.1%	99.5%		
	③ 災害時応援協定の見直し又は新規締結件数	目標	件	—	3	3	3	3
		実績	件	4	5	4		
		達成率	%	—	166.7%	133.3%		
	④ 被害想定に対応した備蓄品の充足率	目標	%	—	40	50	60	70
		実績	%	30	47	60		
		達成率	%	—	117.5%	119.6%		

施策内事業の集計		単位	基準年度 平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総コスト計		千円	2,286,476	2,249,237	2,256,747		
事業費		千円	2,233,909	2,203,386	2,203,440		
人件費		千円	52,567	45,851	53,307		

施策の成果についての総括(CHECK)			
成果	目標達成度合い	順調に成果が上がっている	理由
	自主防災組織の組織数が増え、地域で助け合う共助の意識の向上が見込まれることから順調に成果が上がっていると評価しました。		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆市内金融機関、防犯協会、警察と連携し、振り込み詐欺被害防止キャンペーンを実施しました。 ◆自主防災組織が順調に増えており、地域で助け合う共助の意識の向上について一定の成果が見られました。 ◆小平市空き家等対策計画を策定しました。 ◆小平市総合防災訓練を10月14日(日)に小平市立小平第三中学校で実施し、市民及び地域の防災行動力の向上と防災意識の高揚について一定の成果が見られました。 ◆災害時応援協定の見直し及び新規締結を行い、関係機関、民間事業者等との多様な連携体制の強化について一定の成果が見られました。 ◆被害想定に対応した備蓄を行ったことにより、防災体制の強化・充実に一定の成果が見られました。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ◆複雑、組織化に加え凶悪化、巧妙化するトラブルや犯罪に市民が巻き込まれないために、より効果のある防犯啓発事業等を行っていくことが必要であると考えられます。 ◆今後、空き家の増加が予想されることから、小平市空き家等対策計画に基づき、総合的かつ計画的に空き家等対策に取り組む必要があります。 ◆市民・事業者・行政がそれぞれの立場で必要な役割を果たし、相互に協力して非常事態を克服する諸体制を整備するため、市民の自助能力及び共助能力を高めることが重要とされており、また、市として地震に対する備えを進めるとともに、消防署、消防団など関係機関や民間事業者などとの多様な連携体制の強化が引き続き求められています。 ◆東日本大震災や平成28年4月の熊本地震等の経験を踏まえ、市としての危機対応力を更に向上していく必要があります。 		

施策の方向性(ACTION)					
事務事業の動向	拡大 1 本	維持 13 本	改善 0 本	縮小 1 本	廃止 1 本
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民の日ごろの防犯意識の向上のため、防犯パトロールや防犯キャンペーン等の防犯啓発事業等を引き続き実施していきます。 ◆警察や関係団体との情報交換及び先進市の事例等の情報収集を行い、効果のある防犯啓発事業を実施していきます。 ◆小平市空き家等対策計画に基づき、より実効性の高い空き家等対策事業を実施していきます。 ◆自主防災組織が未結成である自治会等に対する啓発を実施し、組織数の増加を引き続き図ります。また、既存組織についても、組織の活性化や組織間の連携を図れるような事業を引き続き実施していきます。 ◆市や防災関係機関で保有する資機材だけでは、災害時に救護・救援活動をするための必要量を確保することは困難であることから、資機材等を計画的に増やしたり、災害時応援協定等により、それらを調達する手段を確保していきます。 ◆小平市地域防災計画に基づき、より実効性の高い災害対策事業を実施していきます。 				

平成30年度事務事業評価結果一覧

「*」印は、この施策が“サブ施策”となっている事業(この施策に2次的に関与している事業)

番号	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	令和元年度 の動向	施策の 分野
1	防災危機管理課	防災体制の充実事業	16,770	5,539	11,231	維持	2
2	防災危機管理課	防災施設の維持管理事業	44,167	40,423	3,744	維持	2
3	防災危機管理課	防災関係団体の育成事業	8,953	4,012	4,941	維持	2
4	防災危機管理課	防災施設及び備蓄品の整備事業	49,627	47,156	2,471	維持	2
5	防災危機管理課	常備消防に係る委託事業	1,960,489	1,960,115	374	維持	2
6	防災危機管理課	消防団関係運営事業	95,960	86,976	8,984	維持	2
7	防災危機管理課	消防施設の維持管理事業	37,277	32,036	5,241	維持	2
8	防災危機管理課	水防用資材事業	498	123	374	維持	2
9	地域安全課	防犯対策事業	4,590	2,119	2,471	維持	1
10	地域安全課	防犯対策事業〔空き家等対策計画の策定〕	10,396	2,909	7,487	廃止	1
11	都市計画課	耐震化促進事業	13,597	11,351	2,246	拡大	2
12	都市計画課	耐震化促進事業〔特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化事業〕	14,424	10,680	3,744	縮小	2
13	生活支援課	* 社会を明るくする運動事業				維持	1
14	生活支援課	* 避難行動要支援者避難支援体制の整備事業				維持	2
15	高齢者支援課	* 高齢者緊急通報システム事業				維持	2
16	障がい者支援課	* 身体障がい者在宅支援事業				維持	2
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
合計			2,256,747	2,203,440	53,307		

2 安全で安心できるまちをめざす

事業事業評価票

事務事業コード	022702	会計	一般	予算科目	2-1-9	事業名	防災体制の充実事業			
担当課	防災危機管理課	事業開始年度	昭和47年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠] 法(義務あり) [主体の多様性] 国・都でも実施			
目的	市、防災関係機関及び市民が連携して取り組む有機的な体制を充実させる。									
対象	防災関係機関(自衛隊・警察・消防・ライフライン関係企業等)						対象数			
平成30年度の事業内容	小平市総合防災訓練参加機関の調整会議である全機関会議を7月6日(金)に、訓練の内容について審議する防災会議を8月23日(木)に行い、小平市総合防災訓練を10月14日(日)に実施した。また、市職員を対象として、市民等を交えた緊急初動要員訓練を7月24日(火)に実施した。									
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価	
総コスト(千円)	16,765	16,057	16,770	① 総合防災訓練参加者数		目標値	1,300	1,300	1,300	達成
経費	事業費	5,691	4,819			5,539	実績値	1,475	1,528	
	人件費	11,075	11,238	11,231	(単位) 人	達成率	113.5%	117.5%	107.2%	
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	* 1	* 2	* 2	効率性 下がった
	その他	121	121	121		増減率	—	25.0%	9.6%	
一般財源	16,644	15,935	16,649	令和元年度の 予算・事業		維持				
職員・再任用(人)	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00				

事務事業コード	022705	会計	一般	予算科目	2-1-9	事業名	防災施設の維持管理事業			
担当課	防災危機管理課	事業開始年度	昭和37年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠] 法(義務あり) [主体の多様性] 国・都でも実施			
目的	災害時に活用できるよう機能の保守及び整備をする。									
対象	防災行政無線、計測震度計及び震災対策用井戸等各種防災施設						対象数			
平成30年度の事業内容	定例業務として防災行政無線の保守点検・定期通信訓練及び震災対策用井戸水質検査等を行った。									
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価	
総コスト(千円)	34,076	25,283	44,167	① 保守点検実施機器数		目標値	235	226	227	達成
経費	事業費	30,384	21,537			40,423	実績値	235	226	
	人件費	3,692	3,746	3,744	(単位) 機	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
財源	国都支出金	1,100	1,000	3,803	② 単位あたりコスト	千円	* 52	* 54	* 49	効率性 上がった
	その他	0	0	15,900		増減率	—	2.8%	-8.0%	
一般財源	32,976	24,283	24,463	令和元年度の 予算・事業		維持				
職員・再任用(人)	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00				

事務事業コード	022706	会計	一般	予算科目	2-1-9	事業名	防災関係団体の育成事業 *メイン(サブ施策はNo.1)			
担当課	防災危機管理課	事業開始年度	昭和59年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠] 法(義務あり) [主体の多様性] 市のみ実施			
目的	自主防災組織等における防災に係る知識や技術の習得と、救助資器材・食糧等の備蓄の促進									
対象	自主防災組織(地域住民が自主的な防災活動を行う組織)等						対象数 70組織			
平成30年度の事業内容	自主防災組織が新規に4組織結成され、また、資器材の整備費用等に対する補助金を63件交付した。組織間の連携を目的とした防災組織地域交流を2月17日(日)に実施した。									
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価	
総コスト(千円)	9,944	8,315	8,953	① 補助金交付件数		目標値	57	60	58	達成
経費	事業費	5,071	3,370			4,012	実績値	60	58	
	人件費	4,873	4,945	4,941	(単位) 件	達成率	105.3%	96.7%	108.6%	
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	* 128	* 129	* 123	効率性 変わらず
	その他	1,700	0	500		増減率	—	1.1%	-4.4%	
一般財源	8,244	8,315	8,453	令和元年度の 予算・事業		維持				
職員・再任用(人)	0.66	0.00	0.66	0.00	0.66	0.00				

事務事業評価票

4	事務事業コード	022707	会計	一般	予算科目	2-1-9	事業名 防災施設及び備蓄品の整備事業						
	担当課	防災危機管理課		事業開始年度	昭和37年度		[実施の形態]	直営		[実施の根拠]	法(義務あり) [主体の多様性] 国・都でも実施		
	目的	災害時における必要量を確保する。											
	対象	被害想定における避難者・帰宅困難者数							対象数 96,435人				
	平成30年度の事業内容	消費期限が到来する備蓄食糧等の入換えや、防災備蓄用品の充実等を行った。											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
	総コスト(千円)	73,391	66,931	49,627	① 食糧総備蓄量	目標値	148,430	168,780	186,510	達成			
	経費	事業費	70,955	64,459		47,156	実績値	148,430	168,780				186,510
		人件費	2,436	2,472	2,471	(単位) 食	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 上がった		
	財源	国都支出金	35,213	27,500	25,208	② 単位あたりコスト	円	* 56	* 52	* 43			
	その他	0	0	0	増減率		—	-7.0%	-16.8%				
	一般財源	38,179	39,431	24,419	令和元年度の 予算・事業		維持						
職員・再任用(人)	0.33	0.00	0.33	0.00	0.33	0.00							

5	事務事業コード	090101	会計	一般	予算科目	9-1-1	事業名 常備消防に係る委託事業						
	担当課	防災危機管理課		事業開始年度	昭和35年度		[実施の形態]	委託		[実施の根拠]	法(義務あり) [主体の多様性] 市のみ実施		
	目的	災害発生時に短時間で消防活動を受けられるようにする。											
	対象	市内における人的・物的被害が予測されるすべてのもの							対象数 193,588人				
	平成30年度の事業内容	救助活動及びP A連携等を含む災害出場2,251件、救急出場10,206件について対応した。 ※P A連携…救急現場において消防隊と救急隊が連携して救急・救護活動などを行うこと。救急隊より消防隊が先着できる場合や救急隊のみで活動困難な場合に行われる。											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
	総コスト(千円)	1,988,800	1,968,711	1,960,489	① 活動日数	目標値	365	365	365	達成			
	経費	事業費	1,988,431	1,968,336		1,960,115	実績値	365	365				365
		人件費	369	375	374	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 変わらず		
	財源	国都支出金	579,610	613,236	505,476	② 単位あたりコスト	千円	5,449	5,394	5,371			
	その他	0	0	0	増減率		—	-1.0%	-0.4%				
	一般財源	1,409,190	1,355,475	1,455,013	令和元年度の 予算・事業		維持						
職員・再任用(人)	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00							

6	事務事業コード	090102	会計	一般	予算科目	9-1-2	事業名 消防団関係運営事業 *メイン(サブ施策はNo.1)						
	担当課	防災危機管理課		事業開始年度	昭和22年度		[実施の形態]	直営		[実施の根拠]	法(義務あり) [主体の多様性] 市のみ実施		
	目的	火災等災害発生時に即応できる技術と体制を維持する。											
	対象	小平市消防団員(全9分団)							対象数 9分団				
	平成30年度の事業内容	火災発生時に出勤し、消火活動を行った。また、消防技術向上のための訓練や火災予防の広報に従事した。											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
	総コスト(千円)	78,029	101,709	95,960	① 活動日数	目標値	365	365	365	達成			
	経費	事業費	69,170	92,718		86,976	実績値	365	365				365
		人件費	8,860	8,990	8,984	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 上がった		
	財源	国都支出金	375	4,250	9,178	② 単位あたりコスト	千円	* 171	* 186	* 160			
	その他	1,010	16,348	16,909	増減率		—	8.7%	-13.8%				
	一般財源	76,644	81,111	69,873	令和元年度の 予算・事業		維持						
職員・再任用(人)	1.20	0.00	1.20	0.00	1.20	0.00							

2 安全で安心できるまちをめざす

事 務 事 業 評 価 票

事務事業コード	090103	会計	一般	予算科目	9-1-3	事業名	消防施設の維持管理事業					
担当課	防災危機管理課		事業開始年度	昭和22年度		〔実施の形態〕	直営		〔実施の根拠〕法(義務あり)〔主体の多様性〕市のみ実施			
目的	消火栓を設置し、常時使用可能な状態にしておく。											
対象	公設消火栓（常備消防事務の委託外の消防水利）								対象数			1,537基
平成30年度の事業内容	上水道配管工事と一体で市内全域に市負担で消火栓の新設1基、移設19基を施工した。また、水利点検にて不良と判断した箇所での修繕、道路工事に伴う高さ調整等17基の維持管理修繕を実施した。											
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
総コスト(千円)	51,444	48,136	37,277	① 公設消火栓 数	目標値	1,536	1,538	1,538	達成			
経費	事業費	46,276	42,892		32,036	実績値	1,537	1,537		1,537		
	人件費	5,168	5,244	5,241	(単位) 基	達成率	100.1%	99.9%	100.0%			
財源	国都支出金	12,000	12,000	27,449	② 単位あたり コスト	千円	* 20	* 26	* 21	効率性 上がった		
	その他	15,285	68	72		増減率	—	31.2%	-19.3%			
	一般財源	24,159	36,069	9,756	令和元年度の 予算・事業		維持					
職員・再任用(人)	0.70	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00						

事務事業コード	090104	会計	一般	予算科目	9-1-4	事業名	水防用資材事業					
担当課	防災危機管理課		事業開始年度	昭和37年度		〔実施の形態〕	直営		〔実施の根拠〕法(義務あり)〔主体の多様性〕市のみ実施			
目的	水害を防止するために必要な技術を習得する。											
対象	水害が想定される区域において発災時に従事する者								対象数			185人
平成30年度の事業内容	消防団員及び市職員を対象に水防技術の向上と、消防署員との連携強化を目的に小平市総合水防演習を5月19日（土）午前9時30分から午前11時30分まで実施した。											
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
総コスト(千円)	419	464	498	① 水防演習 実施回数	目標値	1	1	1	達成			
経費	事業費	50	90		123	実績値	1	1		1		
	人件費	369	375	374	(単位) 回	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	419	464	498	効率性 下がった		
	その他	0	0	0		増減率	—	10.7%	7.2%			
	一般財源	419	464	498	令和元年度の 予算・事業		維持					
職員・再任用(人)	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00						

事務事業コード	024102-1	会計	一般	予算科目	2-1-9	事業名	防犯対策事業 *メイン(サブ施策はNo.1)					
担当課	地域安全課		事業開始年度	平成16年度		〔実施の形態〕	直営		〔実施の根拠〕都条例(義務なし)〔主体の多様性〕国・都でも実施			
目的	防犯意識の普及啓発											
対象	市民・市内事業者(市を含む)等								対象数			193,588人
平成30年度の事業内容	市職員や市内協力事業者による防犯パトロールを実施した。また、振り込め詐欺の根絶を目指して、振り込め詐欺被害防止キャンペーンを全7回実施し、1,800人が参加した。さらに、「こども110番のいえ」制度への協力を要請した(協力者数:1,734箇所)。											
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
総コスト(千円)	4,844	4,601	4,590	① キャンペーン 参加者数	目標値	1,750	1,750	1,800	達成			
経費	事業費	2,408	2,128		2,119	実績値	1,800	1,800		1,800		
	人件費	2,436	2,472	2,471	(単位) 人	達成率	102.9%	102.9%	100.0%			
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	* 0.6	* 0.5	* 0.5	効率性 変わらず		
	その他	0	0	0		増減率	—	-11.8%	-3.3%			
	一般財源	4,844	4,601	4,590	令和元年度の 予算・事業		維持					
職員・再任用(人)	0.33	0.00	0.33	0.00	0.33	0.00						

事務事業評価票

10	事務事業コード	024102-2	会計	一般	予算科目	2-1-9	事業名	防犯対策事業〔空き家等対策計画の策定〕				
	担当課	地域安全課		事業開始年度	平成30年度		〔実施の形態〕	直営	〔実施の根拠〕 法(義務なし)〔主体の多様性〕 市のみ実施			
	目的	空き家等対策を総合的かつ計画的に推進することを目的とする。										
	対象	市内の空き家等							対象数			
	平成30年度の事業内容	識見を有する者及び公募市民で構成する空き家等対策計画検討委員会を開催し、空き家等実態調査の結果を踏まえ、空き家等の課題の解決を図るため、空き家等対策計画の策定を行った。										
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価		
	総コスト(千円)			10,396	① 検討委員会 開催回数	目標値			3	達成		
	経費	事業費		2,909		実績値			3			
		人件費		7,487	(単位) 回	達成率			100.0%			
	財源	国都支出金		1,454	② 単位あたり コスト	千円			3,465	効率性		
その他			0	増減率				—	—			
一般財源			8,942	令和元年度の 予算・事業		廃止	平成30年度で計画策定が終了したため					
職員・再任用(人)			1.00	0.00								

11	事務事業コード	081724-1	会計	一般	予算科目	8-3-1	事業名	耐震化促進事業 *メイン(サブ施策はNo.3)			
	担当課	都市計画課		事業開始年度	平成17年度		〔実施の形態〕	補助	〔実施の根拠〕 市要綱等〔主体の多様性〕 市のみ実施		
	目的	耐震診断及び改修に要する費用の一部を補助することで、市内木造住宅等の耐震化促進を図る。									
	対象	旧耐震基準(昭和56年5月31日以前)で建築された木造住宅等							対象数 11,000棟		
	平成30年度の事業内容	旧耐震基準の木造住宅を対象とした耐震診断費用の補助(2分の1相当額。上限5万円。)を8件、耐震改修費用の補助(3分の1相当額。上限60万円。)を6件実施。倒壊の危険性が高いブロック塀等を対象とした改善費用の補助を45件実施。また、旧耐震木造住宅及び傾き等が確認されたブロック塀の所有者に対し啓発リーフレットのポスティング事業を実施。									
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価	
	総コスト(千円)	8,015	5,285	13,597	① 耐震診断費用 補助件数	目標値	30	18	18	未達成	
	経費	事業費	5,800	3,037		11,351	実績値	19	9		8
		人件費	2,215	2,248	2,246	(単位) 件	達成率	63.3%	50.0%	44.4%	
	財源	国都支出金	2,359	1,563	4,442	② 単位あたり コスト	千円	422	587	1,700	効率性
その他		0	0	0	増減率		—	39.2%	189.5%	下がった	
一般財源		5,656	3,722	9,155	令和元年度の 予算・事業		拡大	補助金の上限額を増額し、耐震化の促進を図る。			
職員・再任用(人)	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00					

12	事務事業コード	081724-2	会計	一般	予算科目	8-3-1	事業名	耐震化促進事業〔特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化事業〕 *メイン(サブ施策はNo.3)			
	担当課	都市計画課		事業開始年度	平成24年度		〔実施の形態〕	補助	〔実施の根拠〕 都条例(義務あり)〔主体の多様性〕 国・都でも実施		
	目的	該当沿道建築物の耐震化を図ることにより、災害時の救助活動及び物資搬送ルートの確保を図る。									
	対象	特定緊急輸送道路沿道建築物							対象数 11棟		
	平成30年度の事業内容	災害時の救出救助活動及び物資輸送等を円滑に進める目的から、特定緊急輸送道路沿道建築物を対象とした補強設計等費用の補助を1件、耐震改修等費用の補助を1件実施。									
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価	
	総コスト(千円)	6,369	3,746	14,424	① 対象建築物 所有者への 訪問棟数	目標値	1	1	1	達成	
	経費	事業費	2,677	0		10,680	実績値	3	3		3
		人件費	3,692	3,746	3,744	(単位) 棟	達成率	300.0%	300.0%	300.0%	
	財源	国都支出金	2,677	0	8,544	② 単位あたり コスト	千円	2,123	1,249	4,808	効率性
その他		0	0	0	増減率		—	-41.2%	285.0%	下がった	
一般財源		3,692	3,746	5,880	令和元年度の 予算・事業		縮小	対象建築物所有者への個別訪問等による意向調査から予算化した。			
職員・再任用(人)	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00					

2 安全で安心できるまちをめざす

事務事業評価票

事務事業コード	030908	会計	一般	予算科目	3-1-1	事業名	社会を明るくする運動事業 *サブ(メイン施策はNo.1)			
担当課	生活支援課		事業開始年度	平成4年度		[実施の形態]	直営 [実施の根拠] 法(義務なし) [主体の多様性] 国・都でも実施			
目的	実施委員会の運動に対して支援することにより、犯罪や非行のない明るい社会を築く。									
対象	社会を明るくする運動小平市実施委員						対象数	20団体		
平成30年度の事業内容	駅頭広報宣伝活動(7月2日(月))の実施や、市民まつりのパレード(10月21日(日))に参加し、運動の趣旨の呼びかけや啓発物資の配布などを行った。また、作文集「ひまわり」の作成、配付を行った。									
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価	
総コスト(千円)	1,524	1,414	1,386	① 実施委員会構成機関・団体		目標値			-	
経費	事業費	195	66	38	実績値	20	20	20		
費	人件費	1,329	1,349	1,348	(単位) 団体	達成率	-	-	-	
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	76	71	69	効率性 変わらず
	その他	0	0	0		増減率	-	-7.2%	-2.0%	
	一般財源	1,524	1,414	1,386		令和元年度の 予算・事業	維持			
職員・再任用(人)	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18	0.00				

13

事務事業コード	030910	会計	一般	予算科目	3-1-1	事業名	避難行動要支援者避難支援体制の整備事業 *サブ(メイン施策はNo.9-3)			
担当課	生活支援課		事業開始年度	平成21年度		[実施の形態]	直営 [実施の根拠] その他 [主体の多様性] 国・都でも実施			
目的	災害時等の避難行動要支援者の支援を円滑に行う。									
対象	避難行動要支援者						対象数	約6,000人		
平成30年度の事業内容	避難行動要支援者登録名簿の更新、救急医療情報キットの配付、市保管用の情報カードの回収、関係機関への名簿の提供を行った。また、自治会等への事業広報に努め、協定締結自治会・マンション管理組合への名簿の提供を行った。平成30年度避難行動要支援者登録名簿登載者数2,943人									
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価	
総コスト(千円)	7,730	6,521	6,512	① 情報カードの回収人数		目標値	2,900	2,913	2,943	おおむね達成
経費	事業費	1,086	528	522	実績値	2,507	2,486	2,516		
費	人件費	6,645	5,994	5,990	(単位) 人	達成率	86.4%	85.3%	85.5%	
財源	国都支出金	410	200	200	② 単位あたりコスト	千円	3	3	3	効率性 変わらず
	その他	0	0	0		増減率	-	-14.9%	-1.3%	
	一般財源	7,320	6,321	6,312		令和元年度の 予算・事業	維持			
職員・再任用(人)	0.90	0.00	0.80	0.00	0.80	0.00				

14

事務事業コード	031111	会計	一般	予算科目	3-2-2	事業名	高齢者緊急通報システム事業 *サブ(メイン施策はNo.9-5)			
担当課	高齢者支援課		事業開始年度	昭和59年度		[実施の形態]	委託 [実施の根拠] 市要綱等 [主体の多様性] 民間でも実施			
目的	突然の発病や事故の際に緊急通報できるようにする。									
対象	病弱で常時注意を要する高齢者・高齢者のみ世帯						対象数	44,671人		
平成30年度の事業内容	緊急時にボタンひとつで東京消防庁や協力員に通報するシステム(消防型)を実施。平成21年10月よりボタンを押すことで民間受信センターに救護等を求めることができるシステム(民間型)を開始した。平成27年度より警報器を設置し火災による緊急時に東京消防庁・協力員に通報されるシステム(火災安全システム)事業を統合した。平成30年度利用人数 消防型1人 民間型118人、火災安全システム1人									
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価	
総コスト(千円)	5,677	6,475	6,732	① 緊急通報システム利用人数		目標値	81	86	116	達成
経費	事業費	4,422	5,202	5,459	実績値	108	116	120		
費	人件費	1,255	1,274	1,273	(単位) 人	達成率	133.3%	134.9%	103.4%	
財源	国都支出金	1,779	2,107	2,234	② 単位あたりコスト	千円	53	56	56	効率性 変わらず
	その他	0	0	0		増減率	-	6.2%	0.5%	
	一般財源	3,898	4,368	4,498		令和元年度の 予算・事業	維持			
職員・再任用(人)	0.17	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00				

15

事務事業評価票

16	事務事業コード	031352	会計	一般	予算科目	3-1-5	事業名			身体障がい者在宅支援事業 *サブ(メイン施策はNo.9-7)			
	担当課	障がい者支援課		事業開始年度	平成19年度		[実施の形態]	補助		[実施の根拠]	法(義務なし) [主体の多様性] 市のみ実施		
	目的	在宅での健康面、衛生面、災害や事故から生命や財産を守るための支援をする。											
	対象	重度身体障がい者							対象数 2,791人				
	平成30年度の事業内容	ひとり暮らしの在宅重度身体障がい者に、緊急通報システムのサービス提供を行った。 平成30年度 民間型対象者2人、消防型対象者1人											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト			H28年度	H29年度	H30年度	評価		
	総コスト(千円)	2,938	2,791	2,736	① 緊急通報システム設置者	目標値	5	5	4	おおむね達成			
	経費	事業費	723	544		489	実績値	5	4			3	
	費	人件費	2,215	2,248	2,246	(単位) 人	達成率	100.0%	80.0%	75.0%	効率性 下がった		
	財源	国都支出金	30	33	11	② 単位あたりコスト	千円	* 200	* 226	* 297			
その他		0	0	0	増減率		—	12.9%	31.4%				
一般財源	2,908	2,758	2,725	令和元年度の 予算・事業	維持								
職員・再任用(人)	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00							

施策の概要(PPLAN)				主管課		市民課	
長期総合計画の体系		安全・安心で、いきいきとしたまちをめざして		関係課		秘書広報課、都市計画課	
No. 施策名		3 より充実した市民生活をめざす					
施策の分野		1	2	3	4	5	
施策の展開		<p>快適な市民生活を過ごすために、予防・相談・情報提供などの課題解決のために必要な施策を展開し、より充実した市民生活の実現をめざします。</p> <p><長期総合計画P14> 日々の生活を送る基本となる住まいについて、安心して住むことができるように情報を提供します。また、広く雇用に関する情報提供の場を充実させます。</p>					

施策の成果指標と実績(DO)									
			単位	基準年度 平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
成果指標	①	市民相談件数	目標	件	—	1,900	1,900	1,900	1,900
			実績	件	1,900	1,646	1,582		
			達成率	%	—	86.6%	83.3%		
	②	高齢者(60歳代以上)の消費生活相談件数	目標	件	—	450	450	450	450
			実績	件	412	396	601		
			達成率	%	—	88.0%	133.6%		
	③	市報、HPでの就労・雇用に関する情報提供の件数	目標	件	—	30	30	30	30
			実績	件	30	32	28		
			達成率	%	—	106.7%	93.3%		
	④	木造耐震診断経費補助件数	目標	件	—	18	18	18	18
			実績	件	19	9	8		
			達成率	%	—	50.0%	44.4%		

施策内事業の集計		単位	基準年度 平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総コスト計		千円	33,153	31,666	31,460		
事業費		千円	17,694	16,431	16,335		
人件費		千円	15,459	15,236	15,124		

施策の成果についての総括(CHECK)				
成果	目標達成度合い	一部の成果が上 がっている	理由	成果指標の目標の一部のみの達成となったため、一部の成果が上 がっていると評価しました。
	<p>◆市民相談・広聴(市長への手紙・市政への提言)と消費生活相談の受付窓口を統合し、市民にわかりやすい相談受付体制を整えており、必要に応じて適切な相談先につないでいます。</p> <p>◆高齢者の消費者被害を防ぐため、東京都と東京都生活協同組合連合会との協働事業を小平市で行いました。その中で高齢者が遭いやすい消費者トラブルや被害に遭わないために気をつけることについて、相談事例を元に、消費生活相談員が講義やクイズを行いました。また、「こだいら健康体操」や消費者トラブルに関する落語も行い、楽しく学べる講座になるよう工夫しました。</p> <p>◆雇用・就労の情報提供については、市報、ホームページを活用し、相談等の開催時期を捉え適切に行いました。</p>			
課題	<p>◆市民相談では、相続、家庭、不動産の相談など、複雑で多岐にわたる生活に密着した相談内容が増加傾向にあります。引き続き、相談者に寄り添い問題解決に向けた対応が必要です。</p> <p>◆近年は、電話による勧誘や訪問販売、インターネット通販において、商品が届かない、解約ができないなどの思わぬトラブルに発展することがあるため、消費者の意識・知識の向上や的確な情報を迅速に提供する体制の充実が必要です。</p> <p>◆はがき等による架空請求が続いているため、引き続き出前講座や市報等での情報提供及び国等との連携が必要です。</p> <p>◆都の就労支援機関である東京しごとセンター多摩が国分寺に、こだいら就職情報室が福祉会館にあり、専門機関による就労・雇用支援事業が実施されています。的確な情報を提供する体制をより充実させていくことが必要です。</p>			

施策の方向性(ACTION)										
事務事業の動向	拡大	2本	維持	4本	改善	0本	縮小	2本	廃止	0本
施策の方向性	<p>◆市民相談については、市民にとって一番身近な相談機関として引き続き広く周知します。また、市民が抱える諸問題解決の糸口を見出すために、専門相談で利用の多い、法律や相続等に関する講座を開催することについて検討します。</p> <p>◆複雑化・多様化してきた消費生活相談については、国や東京都、民間の相談機関と広域的に連携するとともに、相談者や消費者への迅速・的確な情報提供や、一人ひとりの意識向上のための啓発事業についても推進します。</p> <p>◆就労・雇用に関する専門機関との連携を密にし、広く就労・雇用の機会を創出していくために、今後とも情報提供の充実に取り組んでいきます。</p> <p>◆木造住宅の耐震化補助、増・改築や修繕工事などを行う業者のあっせんについては、引き続き、市報、ホームページおよび公共施設でのチラシ配布などによって、情報提供を行います。令和元年度には補助金額を更に増額し、活用が図られるよう取り組みます。</p>									

平成30年度事務事業評価結果一覧

「*」印は、この施策が“サブ施策”となっている事業(この施策に2次的に関与している事業)

番号	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	令和元年度 の動向	施策の 分野
1	市民課	広聴・相談事業	16,106	7,122	8,985	拡大	1
2	市民課	消費生活相談事業	12,797	9,053	3,744	維持	1
3	市民課	消費者教育講座事業	1,252	54	1,198	維持	1
4	市民課	消費生活展事業	1,305	107	1,198	維持	1
5	秘書広報課	* 市報の発行事業				維持	2
6	秘書広報課	* 広報事業				縮小	2
7	都市計画課	* 耐震化促進事業				拡大	2
8	都市計画課	* 耐震化促進事業[特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化事業]				縮小	2
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
合計			31,460	16,335	15,124		

3 より充実した市民生活をめざす

事 務 事 業 評 価 票

事務事業コード	022321	会計	一般	予算科目	2-1-2	事業名	広聴・相談事業			
担当課	市民課		事業開始年度	昭和43年度		[実施の形態]	直営 [実施の根拠] 法(義務なし) [主体の多様性] 国・都でも実施			
目的	市民の考えや要望を把握して市政の参考とする。また、各種の相談により市民が抱える諸問題解決の糸口を見出す。									
対象	市内在住・在勤・在学の方						対象数			
平成30年度の事業内容	法律相談526件、税務相談221件、交通事故相談39件、相続・暮らしの手続相談198件、登記・成年後見相談72件、住宅・不動産相談66件、年金・労務相談24件、行政相談23件、人権・身の上相談10件、家庭相談35件、市民相談368件 合計相談件数1,582件									
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト			H28年度	H29年度	H30年度	評価
総コスト(千円)	18,158	16,181	16,106	① 相談日数	目標値	243	244	244	達成	
経費	事業費	8,753	7,088		7,122	実績値	243	244		244
	人件費	9,405	9,092	8,985	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	75	66	66	効率性 変わらず
	その他	0	0	0		増減率	—	-11.3%	-0.5%	
一般財源	18,158	16,181	16,106	令和元年度の 予算・事業		拡大	司法書士による相談日を月1回から2回に増やす。			
職員・再任用(人)	0.29	2.00	0.24	2.00	0.24	2.00				

事務事業コード	070303	会計	一般	予算科目	7-1-2	事業名	消費生活相談事業			
担当課	市民課		事業開始年度	昭和49年度		[実施の形態]	直営 [実施の根拠] 法(義務あり) [主体の多様性] 国・都でも実施			
目的	消費者と事業者間の取引に関して生じるトラブル(消費者被害)について、問題解決に向けた支援や情報提供を行う。									
対象	市内在住・在勤・在学の方						対象数			
平成30年度の事業内容	専門の消費生活相談員3人をローテーションで配置し、「消費生活センター」にて相談業務を実施した。相談件数1,302件									
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト			H28年度	H29年度	H30年度	評価
総コスト(千円)	12,456	12,910	12,797	① 相談窓口 日数	目標値	243	244	244	達成	
経費	事業費	8,764	9,164		9,053	実績値	243	244		244
	人件費	3,692	3,746	3,744	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
財源	国都支出金	4,341	4,692	505	② 単位あたり コスト	千円	51	53	52	効率性 変わらず
	その他	0	0	0		増減率	—	3.2%	-0.9%	
一般財源	8,114	8,218	12,292	令和元年度の 予算・事業		維持				
職員・再任用(人)	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00				

事務事業コード	070304	会計	一般	予算科目	7-1-2	事業名	消費者教育講座事業			
担当課	市民課		事業開始年度	平成14年度		[実施の形態]	直営 [実施の根拠] 法(義務なし) [主体の多様性] 国・都でも実施			
目的	消費生活に関する知識を習得し、その知識を適切な行動に結び付けられるよう支援する。									
対象	市民						対象数 193,588人			
平成30年度の事業内容	出前講座5回、夏休み親子講座1回及び消費生活講座2回を実施し、延べ259人が参加した。									
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト			H28年度	H29年度	H30年度	評価
総コスト(千円)	1,243	1,267	1,252	① 講座回数	目標値	7	7	7	達成	
経費	事業費	62	68		54	実績値	11	9		8
	人件費	1,181	1,199	1,198	(単位) 回	達成率	157.1%	128.6%	114.3%	
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	113	141	156	効率性 下がった
	その他	0	0	0		増減率	—	24.6%	11.2%	
一般財源	1,243	1,267	1,252	令和元年度の 予算・事業		維持				
職員・再任用(人)	0.16	0.00	0.16	0.00	0.16	0.00				

事 務 事 業 評 価 票

4	事務事業コード	070306	会計	一般	予算科目	7-1-2	事業名	消費生活展事業					
	担当課	市民課		事業開始年度	昭和49年度		【実施の形態】	補助		【実施の根拠】	市要綱等【主体の多様性】国・都でも実施		
	目的	消費生活展の開催を支援することで、消費者団体の育成を図るとともに消費生活の向上を図る。											
	対象	市民							対象数				193,588人
	平成30年度の事業内容	消費者団体連絡会（5団体）が市からの補助金を活用し、産業まつりにおいて消費生活展を2日間実施した。会場で行ったアンケートの回答者数991人。また、市庁舎1階ロビーにて8日間消費生活パネル展を開催し、消費者啓発の契機とした。											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
	総コスト(千円)	1,296	1,309	1,305	① 消費者団体 連絡会会議	目標値	9	9	9	達成			
	経費	事業費	115	110		107	実績値	9	9		9		
		人件費	1,181	1,199	1,198	(単位) 回	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	144	145	145	効率性 変わらず		
その他		0	0	0	増減率		—	1.0%	-0.3%				
一般財源		1,296	1,309	1,305	令和元年度の 予算・事業	維持							
職員・再任用(人)	0.16	0.00	0.16	0.00	0.16	0.00							

5	事務事業コード	020303	会計	一般	予算科目	2-1-2	事業名	市報の発行事業 *サブ(メイン施策はNo.15)					
	担当課	秘書広報課		事業開始年度	昭和26年度		【実施の形態】	直営		【実施の根拠】	法(義務なし)【主体の多様性】国・都でも実施		
	目的	市政情報等を分かりやすく伝え、市民と市との間に信頼関係を築く。											
	対象	市民							対象数				91,646世帯
	平成30年度の事業内容	定期（24回、毎月5日・20日、10月・1月は1日・20日）、特集号（3回）の市報を発行した。新聞折込・郵送（4月～6月）、戸別配布（7月～）、広報ボックス（33か所）、ふれあい広報ボックス（49か所）、公共施設等（57か所）により配布した。また、音声広報を作成し、視覚に障がいのある方に配付した。また、市ホームページに市報をデジタルブック形式でも掲載した。											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
	総コスト(千円)	51,670	51,748	55,340	① 市報の配布 部数	目標値	2,003,900	1,796,600	2,059,500	達成			
	経費	事業費	26,789	26,500		30,108	実績値	1,917,932	1,663,044		2,076,469		
		人件費	24,881	25,248	25,231	(単位) 部	達成率	95.7%	92.6%	100.8%			
	財源	国都支出金	1,322	1,525	1,505	② 単位あたり コスト	円	26.9	31.1	26.7	効率性 上がった		
その他		0	0	0	増減率		—	15.5%	-14.4%				
一般財源		50,348	50,223	53,834	令和元年度の 予算・事業	維持							
職員・再任用(人)	3.37	0.00	3.37	0.00	3.37	0.00							

6	事務事業コード	020304	会計	一般	予算科目	2-1-2	事業名	広報事業 *サブ(メイン施策はNo.15)					
	担当課	秘書広報課		事業開始年度	昭和26年度		【実施の形態】	直営		【実施の根拠】	法(義務なし)【主体の多様性】国・都でも実施		
	目的	市政情報等を分かりやすく迅速に伝え、市民と市との間に信頼関係を築く。											
	対象	市民							対象数				193,588人
	平成30年度の事業内容	広報掲示板（市内駅頭12か所）へポスターを掲示し、管理した。市民便利帳を11,000部、全図を11,000部作成し、小平市へ転入した世帯を中心に配布した。市ホームページ・スマートフォン用アプリ「小平トピックス」等を運営した。市ホームページのリニューアルを行った。平成30年度の市ホームページ年間アクセス数：3,189,800件											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
	総コスト(千円)	24,901	38,914	30,160	① ホームページ 等更新回数	目標値	1,825	1,825	1,825	達成			
	経費	事業費	12,867	26,702		17,956	実績値	3,049	3,049		4,061		
		人件費	12,034	12,212	12,204	(単位) 回	達成率	167.1%	167.1%	222.5%			
	財源	国都支出金	0	149	272	② 単位あたり コスト	千円	8	13	7	効率性 上がった		
その他		8,003	4,874	4,112	増減率		—	56.3%	-41.8%				
一般財源		16,898	33,891	25,776	令和元年度の 予算・事業	縮小	市ホームページのリニューアル実施終了のため						
職員・再任用(人)	1.63	0.00	1.63	0.00	1.63	0.00							

3 より充実した市民生活をめざす

事業事業評価票

7	事務事業コード	081724-1	会計	一般	予算科目	8-3-1	事業名	耐震化促進事業	*サブ(メイン施策はNo.2)				
	担当課	都市計画課		事業開始年度	平成17年度		[実施の形態]	補助	[実施の根拠]	市要綱等 [主体の多様性] 市のみ実施			
	目的	耐震診断及び改修に要する費用の一部を補助することで、市内木造住宅等の耐震化促進を図る。											
	対象	旧耐震基準(昭和56年5月31日以前)で建築された木造住宅等							対象数	11,000棟			
	平成30年度の事業内容	旧耐震基準の木造住宅を対象とした耐震診断費用の補助(2分の1相当額。上限5万円。)を8件、耐震改修費用の補助(3分の1相当額。上限60万円。)を6件実施。倒壊の危険性が高いブロック塀等を対象とした改善費用の補助を45件実施。また、旧耐震木造住宅及び傾き等が確認されたブロック塀の所有者に対し啓発リーフレットのポスティング事業を実施。											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
	総コスト(千円)	8,015	5,285	13,597	① 耐震診断費用補助件数	目標値	30	18	18	未達成			
	経費	事業費	5,800	3,037		11,351	実績値	19	9				8
		人件費	2,215	2,248	2,246	(単位) 件	達成率	63.3%	50.0%	44.4%	効率性 下がった		
	財源	国都支出金	2,359	1,563	4,442	② 単位あたりコスト	千円	422	587	1,700			
	その他	0	0	0	増減率		—	39.2%	189.5%				
	一般財源	5,656	3,722	9,155	令和元年度の 予算・事業	拡大	補助金の上限額を増額し、耐震化の促進を図る。						
職員・再任用(人)	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00							

8	事務事業コード	081724-2	会計	一般	予算科目	8-3-1	事業名	耐震化促進事業[特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化事業]	*サブ(メイン施策はNo.2)				
	担当課	都市計画課		事業開始年度	平成24年度		[実施の形態]	補助	[実施の根拠]	都条例(義務あり) [主体の多様性] 国・都でも実施			
	目的	該当沿道建築物の耐震化を図ることにより、災害時の救助活動及び物資搬送ルートの確保を図る。											
	対象	特定緊急輸送道路沿道建築物							対象数	11棟			
	平成30年度の事業内容	災害時の救出救助活動及び物資輸送等を円滑に進める目的から、特定緊急輸送道路沿道建築物を対象とした補強設計等費用の補助を1件、耐震改修等費用の補助を1件実施。											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
	総コスト(千円)	6,369	3,746	14,424	① 対象建築物所有者への訪問棟数	目標値	1	1	1	達成			
	経費	事業費	2,677	0		10,680	実績値	3	3				3
		人件費	3,692	3,746	3,744	(単位) 棟	達成率	300.0%	300.0%	300.0%	効率性 下がった		
	財源	国都支出金	2,677	0	8,544	② 単位あたりコスト	千円	2,123	1,249	4,808			
	その他	0	0	0	増減率		—	-41.2%	285.0%				
	一般財源	3,692	3,746	5,880	令和元年度の 予算・事業	縮小	対象建築物所有者への個別訪問等による意向調査から予算化した。						
職員・再任用(人)	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00							

施策の概要(PLAN)				主管課	文化スポーツ課			
長期総合計画の体系	安全・安心で、いきいきとしたまちをめざして			関係課	地域学習支援課、図書館			
No. 施策名	4 新しい文化の創造と文化遺産の保存をめざす							
施策の分野	1	新しい文化の創造・発信	2	歴史	3		4	5
施策の展開 <長期総合計画P15>	<p>さまざまな情報や文化が活発に発信されるこれからは、21世紀にふさわしい新しい文化が創造され、多才な市民の輩出が期待されます。新しい時代にふさわしい文化の創造・発信を支援していくとともに、市内の大学などの地域交流などを通じてさらなる文化交流の輪を広げていきます。</p> <p>「こいだら」にとってかけがえのない文化的・歴史的遺産を守り、歴史を記録し、伝えるとともに、この貴重な遺産をだれもがいつでも身近に親しむことができるように整え、広く活用をめざします。</p>							

施策の成果指標と実績(DO)								
		単位	基準年度 平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
成果指標	①	鈴木遺跡資料館入館者数	目標	人	—	1,000	1,100	1,200
			実績	人	1,564	1,333	1,476	
			達成率	%	—	133.3%	134.2%	
	②	小平市民文化会館の年間利用者数	目標	人	—	270,000	270,000	270,000
			実績	人	272,589	274,916	277,389	
			達成率	%	—	101.8%	102.7%	
	③	小平ふるさと村入園者数	目標	人	—	62,000	62,000	62,000
			実績	人	65,567	61,939	59,578	
			達成率	%	—	99.9%	96.1%	
	④	平櫛田中彫刻美術館来館者数	目標	人	—	8,000	13,500	9,000
			実績	人	10,179	8,907	9,150	
			達成率	%	—	111.3%	67.8%	

施策内事業の集計	単位	基準年度 平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	総コスト計	千円	840,566	669,303	636,790		
	事業費	千円	796,342	628,246	594,150		
	人件費	千円	44,224	41,056	42,640		

施策の成果についての総括(CHECK)			
成果	目標達成度合い	一定の成果が上 がっている	理由
	<p>情報発信等を積極的に実施していくことを通じて、市民が文化や歴史に親しむ機会を提供することができたことから、一定の成果があると評価しました。</p> <p>◆市民文化会館及び小平ふるさと村については、小平市文化振興財団が指定管理者として、効率的な管理運営を進める中で、地域社会の文化・芸術の振興、及び郷土文化の理解、継承のため事業を展開し、豊かな市民生活の形成を図りました。なお、小平ふるさと村の入園者数は夏季の酷暑及び台風等天候の影響もあり、前年度より減少しています。</p> <p>◆鈴木遺跡国指定史跡化を目指す取組、各種イベント等により、文化財の保存と啓発を図りました。</p> <p>◆平櫛田中彫刻美術館では、特別展の開催(隔年開催)、企画展示やイベント、情報発信の取組等により、美術館の魅力向上と平櫛田中芸術等の周知向上を図りました。</p> <p>◆平櫛田中彫刻美術館が中心となり、武蔵野美術大学、小平市文化振興財団と連携イベントや展覧会を開催し、文化・芸術の周知向上を図りました。</p>		
課題	<p>◆指定管理者により運営している市民文化会館及び小平ふるさと村については、指定管理期間における事業の数値目標を設定していることから、これに基づき、事業を展開していきます。また、市民文化会館は開館から26年が経過しており、施設の経年劣化への計画的な対応を図る必要があります。</p> <p>◆歴史や文化財に対する市民・若い世代の関心や愛着を高めるため、情報発信や地域等との連携の取組を深める必要があります。</p> <p>◆小平市史や各史料を、どう利用し郷土を後世に伝えていくか、また歴史的資料等を、今後どう管理・保管していくかの検討が必要です。</p> <p>◆美術館が、多くの市民が文化芸術に親しむ場となるよう、継続的な館のPRと魅力アップの取組を推進する必要があります。</p> <p>◆図書館では、歴史的価値のある古文書、地域行政資料の情報発信、有効活用について積極的にPRする必要があります。</p>		

施策の方向性(ACTION)						
事務事業の動向	拡大 0 本	維持 18 本	改善 0 本	縮小 1 本	廃止 2 本	
施策の方向性	<p>◆市民文化会館については、継続して利用者数270,000人の数値目標を達成したことから、引き続き令和元年度の達成に向けて事業展開を図っていきます。小平ふるさと村については、入場者数62,000人の数値目標に満たなかったため、平日の来場者数を増やす取組の実施等、事業展開をしていきます。また、市民文化会館の施設老朽化対策を含めた維持管理を検討します。</p> <p>◆鈴木遺跡の国指定史跡化を目指す取組をはじめとする文化財の保存活用を推進するとともに、歴史や文化財の魅力伝える啓発・情報発信を行います。</p> <p>◆歴史的資料などの管理・保管方法を検討するとともに、今後、情報の電子化に努め、市のホームページでの公開を容易にします。</p> <p>◆平櫛田中彫刻美術館では、特別展やイベントの開催、他の文化施設との連携等、館の魅力向上や情報発信に継続的に取り組みます。</p> <p>◆図書館では、資料を充実させるとともに、資料等のデジタル化を促進し、情報発信機能をさらに拡充させます。</p>					

平成30年度事務事業評価結果一覧

「*」印は、この施策が“サブ施策”となっている事業(この施策に2次的に関与している事業)

番号	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	令和元年度 の動向	施策の 分野
1	文化スポーツ課	小平ふるさと村管理運営事業	41,965	39,494	2,471	維持	1
2	文化スポーツ課	国際交流事業	15,006	13,733	1,273	維持	1
3	文化スポーツ課	ふれあいの森林づくり事業	837	612	225	維持	1
4	文化スポーツ課	平櫛田中彫刻美術館管理運営事業	45,419	30,445	14,974	維持	2
5	文化スポーツ課	平櫛田中彫刻美術館管理運営事業[平成30年度特別展]	16,936	10,572	6,364	廃止	2
6	文化スポーツ課	小平市・小平町姉妹都市締結40周年記念事業	373	298	75	廃止	1
7	文化スポーツ課	市民文化会館管理運営事業	483,149	480,155	2,995	維持	1
8	文化スポーツ課	文化振興財団への補助事業	2,067	1,618	449	維持	1
9	文化スポーツ課	文化財保護審議会の運営事業	1,089	460	629	維持	2
10	文化スポーツ課	文化財の保存と啓発事業	11,847	7,415	4,432	維持	2
11	文化スポーツ課	研究団体育成事業	877	101	776	維持	2
12	文化スポーツ課	鈴木遺跡資料館維持管理事業	4,716	2,168	2,549	維持	2
13	文化スポーツ課	鈴木遺跡国指定史跡化推進事業	4,754	2,058	2,695	維持	2
14	文化スポーツ課	鈴木遺跡保存管理等用地の整備事業	7,754	5,020	2,734	縮小	2
15	地域学習支援課	* 青少年音楽祭事業				維持	1
16	地域学習支援課	* 姉妹都市小平町との少年少女交歓交流事業				維持	1
17	地域学習支援課	* 青少年健全育成団体支援事業[吹奏楽団育成]				維持	1
18	図書館	* 古文書の収集・整理・保存事業				維持	2
19	図書館	* 地域資料の収集・整理・保存事業				維持	2
20	図書館	* 郷土写真資料の収集・整理・保存事業				維持	2
21	文化スポーツ課	* 2020年オリンピック・パラリンピックの成功に向けた支援事業				維持	1
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
合計			636,790	594,150	42,640		

4 新しい文化の創造と文化遺産の保存をめざす

事務事業評価票

事務事業コード	024504	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	小平ふるさと村管理運営事業			
担当課	文化スポーツ課	事業開始年度	平成5年度		[実施の形態]	その他	[実施の根拠]	市条例	[主体の多様性]	国・都でも実施
目的	小平の郷土文化の理解・継承と地域の活性化									
対象	市民								対象数	193,588人
平成30年度の事業内容	指定管理者である小平市文化振興財団に指定管理料を支払った。財団が建物管理料、人件費、事務費、事業費として執行した。入園者数は59,578人									
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価	
総コスト(千円)	42,210	40,757	41,965	① 開園日数	目標値	294	294	295	達成	
経費	事業費	39,773	38,284		39,494	実績値	294	294		
	人件費	2,436	2,472	2,471	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
財源	国都支出金	1,800	0	0	② 単位あたりコスト	千円	144	139	142	効率性 変わらず
	その他	153	173	147		増減率	—	-3.4%	2.6%	
一般財源	40,257	40,584	41,818	令和元年度の 予算・事業	維持					
職員・再任用(人)	0.33	0.00	0.33	0.00	0.33	0.00				

1

事務事業コード	024505	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	国際交流事業			*メイン(サブ施策はNo.1)
担当課	文化スポーツ課	事業開始年度	平成2年度		[実施の形態]	補助	[実施の根拠]	市要綱等	[主体の多様性]	民間でも実施
目的	地域における市民レベルの外国人と市民の交流機会を増やす。									
対象	市民								対象数	193,588人
平成30年度の事業内容	小平市国際交流協会へ管理運営費の一部及び事業費の一部を補助した。小平市国際交流協会主催事業の参加者は10,345人									
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価	
総コスト(千円)	15,110	15,252	15,006	① 事業数	目標値	26	26	27	おおむね達成	
経費	事業費	13,855	13,978		13,733	実績値	26	26		
	人件費	1,255	1,274	1,273	(単位) 事業	達成率	100.0%	100.0%	96.3%	
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	581	587	577	効率性 変わらず
	その他	3,000	3,000	3,000		増減率	—	0.9%	-1.6%	
一般財源	12,110	12,252	12,006	令和元年度の 予算・事業	維持					
職員・再任用(人)	0.17	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00				

2

事務事業コード	024506	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	ふれあいの森林づくり事業			*メイン(サブ施策はNo.7)
担当課	文化スポーツ課	事業開始年度	昭和60年度		[実施の形態]	委託	[実施の根拠]	法(義務なし)	[主体の多様性]	国・都でも実施
目的	緑資源の保護・培養及び小平町との友好交流。									
対象	市民と小平町民								対象数	196,735人
平成30年度の事業内容	姉妹都市小平町の「ふれあいの森林」の作業路草刈、ふれあいの広場の管理業務を実施した。ふれあいの森林づくり分収造林契約者数は64人									
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価	
総コスト(千円)	1,017	844	837	① 維持面積	目標値	132	132	132	達成	
経費	事業費	796	620		612	実績値	132	132		
	人件費	221	225	225	(単位) ha	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	8	6	6	効率性 変わらず
	その他	0	0	0		増減率	—	-17.0%	-0.9%	
一般財源	1,017	844	837	令和元年度の 予算・事業	維持					
職員・再任用(人)	0.03	0.00	0.03	0.00	0.03	0.00				

3

事務事業評価票

4	事務事業コード	024507-1	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	平櫛田中彫刻美術館管理運営事業						
	担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	昭和59年度		〔実施の形態〕	直営	〔実施の根拠〕	市条例			〔主体の多様性〕	市のみ実施
	目的	美術館を維持管理し、作品及び施設を保全公開することにより、市民の文化の発展に寄与する。												
	対象	市民							対象数	193,588人				
	平成30年度の事業内容	特別展及び企画展（「春季展示」「夏季展示」「秋季展示」「冬季展示」）、イベント（「お茶会（春・秋）」「わくわく発見！親子で美術館」「ナイトミュージアム」）を実施した。また、「着物で日本文化体験ツアー（東京オリンピック・パラリンピック気運醸成事業）」、出前コンサート（小平市文化振興財団との共催事業）を実施した。来館者数は9,150人であった。												
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価				
	総コスト(千円)	44,801	45,181	45,419	① 美術館 開館日数	目標値	301	300	306	達成				
	経費	事業費	30,035	30,197		30,445	実績値	301	300				306	
		人件費	14,766	14,984	14,974	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 変わらず			
	財源	国都支出金	0	192	291	② 単位あたり コスト	千円	149	151	148				
	その他	9,117	7,412	8,876	増減率		—	1.2%	-1.4%					
	一般財源	35,684	37,577	36,253	令和元年度の 予算・事業	維持								
職員・再任用(人)	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00								

5	事務事業コード	024507-2	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	平櫛田中彫刻美術館管理運営事業〔平成30年度特別展〕						
	担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	昭和59年度		〔実施の形態〕	直営	〔実施の根拠〕	市条例			〔主体の多様性〕	市のみ実施
	目的	美術館の魅力の向上を活性化を図り、平櫛田中の芸術と人間性を広くアピールする。												
	対象	市民							対象数	193,588人				
	平成30年度の事業内容	明治150年を記念して特別展『彫刻コトハジメ』を開催し、全国各地から明治時代の優れた彫刻作品を借用し、その魅力を紹介した。会期中は（公財）小平市文化振興財団との共催で「出前コンサート」を実施したほか、糸あやつり人形公演を実施し、美術館のPRを図った。												
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価				
	総コスト(千円)	15,860		16,936	① 来館者数	目標値	4,500		5,600	遅れている				
	経費	事業費	9,585	10,572		実績値	3,264		3,621					
		人件費	6,276	6,364	(単位) 人	達成率	72.5%		64.7%	効率性 —				
	財源	国都支出金	0		52	② 単位あたり コスト	千円	5					5	
	その他	1,663		1,451	増減率		—		—					
	一般財源	14,197		15,433	令和元年度の 予算・事業	廃止		事業終了のため						
職員・再任用(人)	0.85	0.00			0.85	0.00								

6	事務事業コード	024509	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	小平市・小平町姉妹都市締結40周年記念事業						
	担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	平成30年度		〔実施の形態〕	直営	〔実施の根拠〕	市条例			〔主体の多様性〕	民間でも実施
	目的	小平市・小平町の姉妹都市締結40周年を記念する												
	対象	市民							対象数	193,588人				
	平成30年度の事業内容	姉妹都市交流40周年のPRとして、懸垂幕・のぼり旗の掲出や灯りまつりにおいてPR灯ろうを設置した。小平市民まつりでは、小平町物産品を購入した方を対象として、姉妹都市40周年を記念したピンバッジを配布した。また、本庁舎1階ロビーにて小平町を紹介したパネル展を開催（パンフレット・チラシを配布）した。												
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価				
	総コスト(千円)			373	① ピンバッジ 配布数	目標値			400	達成				
	経費	事業費		298		実績値			400					
		人件費		75	(単位) 個	達成率			100.0%	効率性 —				
	財源	国都支出金		0	② 単位あたり コスト	千円			1					
	その他		0	増減率				—						
	一般財源		373	令和元年度の 予算・事業	廃止		事業終了のため							
職員・再任用(人)				0.01	0.00									

4 新しい文化の創造と文化遺産の保存をめざす

事務事業評価票

事務事業コード	024502	会計	一般	予算科目	2-1-11	事業名			市民文化会館管理運営事業				
担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	平成5年度		[実施の形態]	その他		[実施の根拠]	市条例		[主体の多様性]	民間でも実施
目的	地域社会の文化・芸術の振興、地域社会の発展及び豊かな市民生活を送る。												
対象	市民								対象数				193,588人
平成30年度の事業内容	指定管理者である小平市文化振興財団に指定管理料を支払った。財団が建物管理費、人件費、事務費、事業費として執行した。舞台設備の改修を行った。年間利用者数は277,389人だった。												
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト			H28年度	H29年度	H30年度	評価			
総コスト(千円)	545,077	482,657	483,149	① 開館日数	目標値	334	334	334	達成				
経費	事業費	542,124	479,661		480,155	実績値	334	334		334			
	人件費	2,953	2,997	2,995	(単位)	日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
財源	国都支出金	73,020	24,200	41,248	② 単位あたり コスト	千円	1,632	1,445	1,447	効率性 変わらず			
	その他	85,902	80,738	88,482		増減率	—	-11.5%	0.1%				
一般財源	386,155	377,719	353,419	令和元年度の 予算・事業	維持								
職員・再任用(人)	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00							

7

事務事業コード	024503	会計	一般	予算科目	2-1-11	事業名			文化振興財団への補助事業				
担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	平成5年度		[実施の形態]	補助		[実施の根拠]	市条例		[主体の多様性]	国・都でも実施
目的	地域社会の文化・芸術の振興、地域社会の発展及び豊かな市民生活を送る。												
対象	市民								対象数				193,588人
平成30年度の事業内容	小平市文化振興財団に、財団の運営費用の一部を補助した。自主事業入場者数は、延べ52,347人だった。												
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト			H28年度	H29年度	H30年度	評価			
総コスト(千円)	1,888	1,895	2,067	① 自主事業数	目標値	63	59	60	達成				
経費	事業費	1,445	1,445		1,618	実績値	63	59		60			
	人件費	443	450	449	(単位)	本	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	30	32	34	効率性 下がった			
	その他	0	0	0		増減率	—	7.1%	7.3%				
一般財源	1,888	1,895	2,067	令和元年度の 予算・事業	維持								
職員・再任用(人)	0.06	0.00	0.06	0.00	0.06	0.00							

8

事務事業コード	101121	会計	一般	予算科目	10-4-4	事業名			文化財保護審議会の運営事業				
担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	昭和39年度		[実施の形態]	直営		[実施の根拠]	市条例		[主体の多様性]	国・都でも実施
目的	文化財に関する意見具申及び調査・研究を行う。												
対象	文化財保護審議会委員								対象数				10人
平成30年度の事業内容	審議会を4回開催し、文化財指定候補の調査研究等を行った。												
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト			H28年度	H29年度	H30年度	評価			
総コスト(千円)	1,188	1,308	1,089	① 審議会及び 視察実施回数	目標値	4	4	4	達成				
経費	事業費	376	484		460	実績値	4	4		4			
	人件費	812	824	629	(単位)	回	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	297	327	272	効率性 上がった			
	その他	0	0	0		増減率	—	10.1%	-16.8%				
一般財源	1,188	1,308	1,089	令和元年度の 予算・事業	維持								
職員・再任用(人)	0.11	0.00	0.11	0.00	0.06	0.05							

9

4 新しい文化の創造と文化遺産の保存をめざす

事務事業評価票

10	事務事業コード	101122	会計	一般	予算科目	10-4-4	事業名 文化財の保存と啓発事業					
	担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	昭和39年度		[実施の形態]	直営 [実施の根拠] 法(義務あり) [主体の多様性] 国・都でも実施				
	目的	文化財の保存及び文化財保護に対する意識の涵養等を図る。										
	対象	市内にある文化財及び市民							対象数	文化財21件 市民193,588人		
	平成30年度の事業内容	市内遺跡調査の実施 民具の管理(平成30年度末現在11,683点)及び民具収蔵庫の維持管理 特別展等の開催										
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価		
	総コスト(千円)	15,377	11,362	11,847	① 文化財特別展等開催日数		目標値	56	72	22	達成	
	経費	事業費	9,471	5,368	7,415	実績値		56	72	22		
	費	人件費	5,906	5,994	4,432	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
	財源	国都支出金	1,473	40	1,938	② 単位あたりコスト		千円	275	158	538	効率性 下がった
その他		53	57	46	増減率		—	-42.5%	241.2%			
一般財源		13,851	11,264	9,863	令和元年度の 予算・事業	維持						
職員・再任用(人)	0.80	0.00	0.80	0.00	0.40	0.40						

11	事務事業コード	101123	会計	一般	予算科目	10-4-4	事業名 研究団体育成事業					
	担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	昭和53年度		[実施の形態]	補助 [実施の根拠] 市要綱等 [主体の多様性] 国・都でも実施				
	目的	市内にある文化財の調査・研究及び保存活動を継続的に行う。										
	対象	小平郷土研究会及び小平市鈴木ばやし保存会							対象数	2団体		
	平成30年度の事業内容	小平郷土研究会及び小平市鈴木ばやし保存会に補助金を交付した。										
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価		
	総コスト(千円)	1,211	1,219	877	① 補助金交付団体数		目標値	2	2	2	達成	
	経費	事業費	178	170	101	実績値		2	2	2		
	費	人件費	1,034	1,049	776	(単位) 団体	達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト		千円	606	609	438	効率性 上がった
その他		0	0	0	増減率		—	0.6%	-28.1%			
一般財源		1,211	1,219	877	令和元年度の 予算・事業	維持						
職員・再任用(人)	0.14	0.00	0.14	0.00	0.07	0.07						

12	事務事業コード	101124	会計	一般	予算科目	10-4-4	事業名 鈴木遺跡資料館維持管理事業					
	担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	昭和56年度		[実施の形態]	直営 [実施の根拠] 市要綱等 [主体の多様性] 国・都でも実施				
	目的	鈴木遺跡の発掘品等を展示している鈴木遺跡資料館の維持管理を行う。										
	対象	鈴木遺跡資料館							対象数	1館		
	平成30年度の事業内容	施設の維持管理を行った。 開館日：水曜日・土曜日・日曜日・休祝日(年末年始を除く)166日間開館した。入館無料。 展示室を活用し、小平の遺跡をあるく・文化財特別展・文化財ギャラリートーク等の事業を実施した。										
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価		
	総コスト(千円)	5,471	6,252	4,716	① 開館日数		目標値	168	163	166	達成	
	経費	事業費	2,075	2,805	2,168	実績値		168	163	166		
	費	人件費	3,396	3,446	2,549	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト		千円	33	38	28	効率性 上がった
その他		0	0	0	増減率		—	17.8%	-25.9%			
一般財源		5,471	6,252	4,716	令和元年度の 予算・事業	維持						
職員・再任用(人)	0.46	0.00	0.46	0.00	0.23	0.23						

4 新しい文化の創造と文化遺産の保存をめざす

事務事業評価票

13	事務事業コード	101125	会計	一般	予算科目	10-4-4	事業名 鈴木遺跡国指定史跡化推進事業					
	担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	平成25年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	その他	[主体の多様性]	国・都でも実施
	目的	鈴木遺跡の国指定史跡化を推進し、その保存・活用を図る。										
	対象	鈴木遺跡									対象数	1件
	平成30年度の事業内容	鈴木遺跡発掘調査総括報告書作成委員会を4回開催した。 鈴木遺跡発掘調査総括整理及び鈴木遺跡総括報告書基礎資料作成、鈴木遺跡総括報告書編集作業を実施した。										
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価		
	総コスト(千円)	13,271	18,180	4,754	① 作成委員会 開催回数	目標値	3	3	3	達成		
	経費	事業費	9,653	14,508		2,058	実績値	3	3		4	
		人件費	3,618	3,671	2,695	(単位) 回	達成率	100.0%	100.0%	133.3%		
	財源	国都支出金	8,160	13,257	351	② 単位あたり コスト	千円	4,424	6,060	1,188	効率性 上がった	
その他		0	0	0	増減率		—	37.0%	-80.4%			
一般財源		5,111	4,923	4,403	令和元年度の 予算・事業	維持						
職員・再任用(人)	0.49	0.00	0.49	0.00	0.24	0.25						

14	事務事業コード	101126	会計	一般	予算科目	10-4-4	事業名 鈴木遺跡保存管理等用地の整備事業					
	担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	平成27年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	その他	[主体の多様性]	国・都でも実施
	目的	農林中央金庫から寄付を受けた鈴木遺跡保存管理等用地を整備し、鈴木遺跡の保存・保護と活用を図る。										
	対象	鈴木遺跡及び市民									対象数	文化財1件 市民193,588人
	平成30年度の事業内容	樹木剪定及び除草、用地フェンス保守点検など、用地内の維持管理を行った。 用地整備事業の住民周知事業（鈴木遺跡資料館でのオープンハウス展示）を行った。										
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価		
	総コスト(千円)	140,296	44,397	7,754	① 対象面積	目標値	14,352	14,352	14,352	達成		
	経費	事業費	136,679	40,726		5,020	実績値	14,352	14,352		14,352	
		人件費	3,618	3,671	2,734	(単位) m ²	達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
	財源	国都支出金	99	0	0	② 単位あたり コスト	千円	10	3	1	効率性 上がった	
その他		0	0	0	増減率		—	-68.4%	-82.5%			
一般財源		140,197	44,397	7,754	令和元年度の 予算・事業	縮小	用地内の施設解体工事が終了したことによる減					
職員・再任用(人)	0.49	0.00	0.49	0.00	0.25	0.24						

15	事務事業コード	100918	会計	一般	予算科目	10-4-3	事業名 青少年音楽祭事業					*サブ(メイン施策はNo.10-2)
	担当課	地域学習支援課		事業開始年度	平成元年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	その他	[主体の多様性]	民間でも実施
	目的	音楽発表の場を提供し、青少年の音楽活動を促進することにより、青少年の健全育成を図る。										
	対象	小学生以上で市内在住、在学、在勤の青少年									対象数	47,382人
	平成30年度の事業内容	第30回青少年音楽祭の開催（平成30年10月14日（日）、ルネこだいら大ホール、16組265人出演） 青少年委員の企画・運営により、小平青少年吹奏楽団の協力を得て実施した。										
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価		
	総コスト(千円)	1,346	1,437	1,312	① 音楽祭 実施回数	目標値	1	1	1	達成		
	経費	事業費	460	538		414	実績値	1	1		1	
		人件費	886	899	898	(単位) 回	達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	1,346	1,437	1,312	効率性 上がった	
その他		0	0	0	増減率		—	6.7%	-8.7%			
一般財源		1,346	1,437	1,312	令和元年度の 予算・事業	維持						
職員・再任用(人)	0.12	0.00	0.12	0.00	0.12	0.00						

事務事業評価票

16	事務事業コード	100921	会計	一般	予算科目	10-4-3	事業名	姉妹都市小平町との少年少女交歓交流事業 *サブ(メイン施策はNo.10-2)					
	担当課	地域学習支援課		事業開始年度	昭和54年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	その他 [主体の多様性] 市のみ実施			
	目的	参加者が親睦と両市町の理解を深め見聞を広めて、郷土社会の発展に寄与することを目指す。											
	対象	小平市及び小平町在住の小学5・6年生、中学1年生							対象数	3,325人			
	平成30年度の事業内容	平成30年7月30日(月)～8月2日(木)に小平市19人・小平町20人の参加者が、小平市において交流。市長表敬訪問、ブルーベリー摘み体験、多摩六都科学館見学、平櫛田中彫刻美術館見学、東京ディズニーランドでのグループ活動等を実施した。また、事業日以外に事前研修2回・事後研修1回を行った。											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
	総コスト(千円)	3,860	2,926	3,860	① 事業実施 日数	目標値	7	8	7	達成			
	経費	事業費	1,645	1,203		1,614	実績値	7	8				7
		人件費	2,215	1,723	2,246	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 下がった		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	551	366	551			
	その他	215	0	230	増減率		—	-33.7%	50.8%				
	一般財源	3,645	2,926	3,630	令和元年度の 予算・事業	維持							
職員・再任用(人)	0.30	0.00	0.23	0.00	0.30	0.00							

17	事務事業コード	100922-2	会計	一般	予算科目	10-4-3	事業名	青少年健全育成団体支援事業[吹奏楽団育成] *サブ(メイン施策はNo.10-2)					
	担当課	地域学習支援課		事業開始年度	昭和62年度		[実施の形態]	補助	[実施の根拠]	市要綱等 [主体の多様性] 市のみ実施			
	目的	小平青少年吹奏楽団の活動を充実・活発化することにより、青少年の健全育成を図る。											
	対象	小平青少年吹奏楽団							対象数	1団体			
	平成30年度の事業内容	・小平青少年吹奏楽団への補助金交付490,000円 ・小平青少年吹奏楽団への楽器の貸与											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
	総コスト(千円)	648	650	640	① 楽団員数	目標値	40	40	40	おおむね達成			
	経費	事業費	500	500		490	実績値	30	30				30
		人件費	148	150	150	(単位) 人	達成率	75.0%	75.0%	75.0%	効率性 変わらず		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	22	22	21			
	その他	0	0	0	増減率		—	0.3%	-1.6%				
	一般財源	648	650	640	令和元年度の 予算・事業	維持							
職員・再任用(人)	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00							

18	事務事業コード	101504	会計	一般	予算科目	10-4-6	事業名	古文書の収集・整理・保存事業 *サブ(メイン施策はNo.11-2)					
	担当課	図書館		事業開始年度	昭和51年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	法(義務なし) [主体の多様性] 市のみ実施			
	目的	地域の歴史研究に不可欠な原資料を収集、保存し、資料提供を図る。											
	対象	歴史的な記録(古文書)							対象数	30,679点			
	平成30年度の事業内容	市史編さん事業の中で整理され、図書館に移管された古文書について、スキャナーで取り込みデータのデジタル化処理作業(4家2,785枚)を進め、これまでスキャナーで取り込んだ画像のうち、小川村の諸家(2家)については、DVD3枚に複製した。また、小川家文書の「御用留」について、手書積文からPC入力作業及び校正作業を進めている。PC入力は小川家文書139点のうち50点は作業済み。特別文庫(伊藤文庫など)を整理中。なお、小平の地域資料(古文書)の活用・情報発信を進めるために展示及び講演会「古文書が語る小平の歴史」を開催した。											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
	総コスト(千円)	4,743	4,449	4,407	① デジタル化 処理件数	目標値	10,000	8,000	3,000	おおむね達成			
	経費	事業費	3,642	3,700		3,658	実績値	12,254	6,963				2,785
		人件費	1,102	749	749	(単位) 枚	達成率	122.5%	87.0%	92.8%	効率性 下がった		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	0	1	2			
	その他	42	27	36	増減率		—	65.1%	147.7%				
	一般財源	4,701	4,422	4,371	令和元年度の 予算・事業	維持							
職員・再任用(人)	0.10	0.10	0.10	0.00	0.10	0.00							

4 新しい文化の創造と文化遺産の保存をめざす

事 務 事 業 評 価 票

19	事務事業コード	101505	会計	一般	予算科目	10-4-6	事業名	地域資料の収集・整理・保存事業 *サブ(メイン施策はNo.11-2)					
	担当課	図書館		事業開始年度	昭和50年度		[実施の形態]	直営		[実施の根拠] 法(義務なし) [主体の多様性] 市のみ実施			
	目的	地域の課題解決に必要な資料の充実と効果的な運用を図る。											
	対象	地域の資料・情報							対象数 69,275点				
	平成30年度の事業内容	行政資料を初め、地域の生活や課題解決に役立つ地域に関する資料を収集、貸出をして、情報支援を行った。平成30年度の地域行政資料の貸出数は9,503点であった。											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
	総コスト(千円)	4,313	4,357	4,352	① 加除冊数	目標値	2,000	2,500	2,500	達成			
	経費	事業費	622	611		608	実績値	2,136	2,927		2,570		
		人件費	3,692	3,746	3,744	(単位) 冊	達成率	106.8%	117.1%	102.8%			
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	2	1	2	効率性 下がった		
その他		220	164	98	増減率		—	-26.3%	13.7%				
一般財源		4,093	4,193	4,253	令和元年度の 予算・事業	維持							
職員・再任用(人)	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00							

20	事務事業コード	101520	会計	一般	予算科目	10-4-6	事業名	郷土写真資料の収集・整理・保存事業 *サブ(メイン施策はNo.11-2)					
	担当課	図書館		事業開始年度	昭和56年度		[実施の形態]	直営		[実施の根拠] 法(義務なし) [主体の多様性] 市のみ実施			
	目的	資料を収集、整理、保存し、効率的な運用を図る。											
	対象	郷土に関する写真資料							対象数 63,493点				
	平成30年度の事業内容	市内で定点撮影を行い、写真資料の収集、整理、保存をすることで、多様な資料のそろった図書館となるとともに郷土への理解と愛着を深めた。写真の保存についてはデジタル化を進め、平成30年度は5,987件の写真資料をデジタル化した。											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
	総コスト(千円)	2,081	2,099	2,049	① 定点箇所	目標値	51	52	59	達成			
	経費	事業費	235	226		177	実績値	51	52		59		
		人件費	1,846	1,873	1,872	(単位) 箇所	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	41	40	35	効率性 上がった		
その他		0	0	0	増減率		—	-1.1%	-14.0%				
一般財源		2,081	2,099	2,049	令和元年度の 予算・事業	維持							
職員・再任用(人)	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00							

21	事務事業コード	101128	会計	一般	予算科目	10-5-1	事業名	2020年オリンピック・パラリンピックの成功に向けた支援事業 *サブ(メイン施策はNo.11-3)					
	担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	平成27年度		[実施の形態]	直営		[実施の根拠] 法(義務なし) [主体の多様性] 国・都でも実施			
	目的	東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成を図り、スポーツ及び文化の振興につなげる。											
	対象	市民							対象数 193,588人				
	平成30年度の事業内容	東京都のスポーツ振興等事業費補助金を活用して、以下の4つの事業を実施した。 ①オリンピック・パラリンピック理解促進事業(大会を契機とした文化の振興を含む) ②スポーツの普及啓発事業 ③海外の来訪者の受入体制整備事業 ④障がい者スポーツ地域振興事業											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
	総コスト(千円)	9,092	6,012	6,038	① 事業実施 回数	目標値	9	9	9	おおむね達成			
	経費	事業費	6,877	3,764		3,792	実績値	10	9		8		
		人件費	2,215	2,248	2,246	(単位) 回	達成率	111.1%	100.0%	88.9%			
	財源	国都支出金	3,710	2,009	1,869	② 単位あたり コスト	千円	909	668	755	効率性 下がった		
その他		0	0	0	増減率		—	-26.5%	13.0%				
一般財源		5,382	4,003	4,169	令和元年度の 予算・事業	維持							
職員・再任用(人)	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00							

施策の概要 (PLAN)			主管課	水と緑と公園課		
長期総合計画の体系	快適で、ほんわかとするまちをめざして		関係課			
No. 施策名	5 貴重な緑を生み出す					
施策の分野	1 公園と緑	2 公共の緑	3	4	5	
施策の展開 <長期総合計画P15>	<p>市民、行政を問わず、宅地や空間地の緑化や屋上・壁面緑化をはじめとして、緑の保全とともに新たな緑を生み出し、また環境にやさしい自然豊かな特色ある公園の実現をめざします。</p> <p>玉川上水、野火止用水、狭山・境緑道などの自然が豊かな貴重な財産の活用については、さらに多くの市民に愛され利用されるために、関係機関と連携してその魅力を増すことに努めます。また事業所などについても、生垣や植栽などで緑の公共性を高め、環境にやさしい身近な緑を積極的に生み出していくことを進めます。</p>					

施策の成果指標と実績 (DO)									
			単位	基準年度 平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
成果指標	①	こだいら花いっぱいプロジェクトの活動実施数	目標	回	—	9	9	9	9
			実績	回	9	10	10		
			達成率	%	—	111.1%	111.1%		
	②	公園等アダプト制度の導入公園数	目標	箇所	—	5	8	10	10
			実績	箇所	2	5	8		
			進捗率	%	—	50.0%	80.0%		
	③	「みどりの骨格」の近隣の公園の再整備数	目標	箇所	—	1	2	3	4
			実績	箇所		2	3		
			進捗率	%	—	50.0%	75.0%		
	④	公園面積	目標	—	—	—	—	—	—
			実績	m ²	349,048	356,165	356,715		
			進捗率	%	—	—	—		

施策内事業の集計			単位	基準年度 平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	総コスト計		千円	446,033	405,086	334,861		
	事業費		千円	400,259	359,160	288,142		
	人件費		千円	45,775	45,926	46,719		

施策の成果についての総括 (CHECK)				
成果	目標達成度合い	順調に成果が上 がっている	理由	こだいら花いっぱいプロジェクトの活動実施数が目標を上回り、公園等アダプト制度の導入公園数が、目標どおりの実績となっているため。
	<ul style="list-style-type: none"> ◆こだいら花いっぱいプロジェクトの活動実施数は目標を上回りました。 ◆公園等アダプト制度の導入公園数について、平成29年度末時点の5公園に加えて、新たに3公園で登録を行いました。 ◆東部公園のグラウンド整備及びバリアフリー化を実施しました。 ◆グリーンフェスティバル事業については、イベントに約6,200人が来場し、多くの人へ緑の保護と緑化に関する意識啓発を行うことができました。 ◆適切なみどり政策を推進していくために、小平市みどりの基本計画2010の重点施策についての進捗状況を把握しました。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆公園施設については、全国的に発生している倒木事故や遊具事故を予防するための取組が必要です。 ◆グリーンフェスティバル事業については、引き続きイベントへの参加団体を増やすなど、より多くの市民の参加を得て啓発事業の推進を図ることが必要です。 ◆名木剪定補助金の申請が少ないため、より多くの名木所有者に活用していただく必要があります。 ◆公園等アダプト制度の導入公園数について、公園数は目標どおりの登録実績となっていますが、登録時及び登録後の作業範囲の拡大が課題となっています。 			

施策の方向性 (ACTION)										
事務事業の動向	拡大	0 本	維持	7 本	改善	0 本	縮小	0 本	廃止	0 本
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ◆公園等アダプト制度の導入公園数については、令和元年度に新たに2公園の登録を目指し、取り組んでいきます。 ◆良好な緑空間を維持するため、保存樹林、緑道などを計画的に管理し、安全で安心して市民が身近な緑を実感できるような緑地、緑道の管理を行っていきます。 ◆市民参加・協働による樹林の管理を推進し、特別緑地保全地区及び保存樹林の保全に努めます。 ◆公園内の高木について必要に応じて診断等を行い、危険なものは積極的に更新します。また、他の施設については、引き続きパトロールや委託による点検を行い、撤去・修繕・更新を講じていきます。 ◆積極的に小規模公園のリニューアルを行うなど、質の高い公園づくりをめざします。 ◆保存樹木、保存生垣、生垣造成、名木百選への補助金制度を活用し、より多くの緑を保全するとともに、緑化の推進に努めます。 									

平成30年度事務事業評価結果一覧

「*」印は、この施策が“サブ施策”となっている事業(この施策に2次的に関与している事業)

番号	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	令和元年度 の動向	施策の 分野
1	水と緑と公園課	公園の維持管理事業	259,734	241,017	18,718	維持	1
2	水と緑と公園課	緑道の整備と維持管理事業	15,150	11,557	3,594	維持	2
3	水と緑と公園課	公園整備事業	5,270	4,072	1,198	維持	1
4	水と緑と公園課	緑の保護と緑化の推進事業[緑の保護]	37,502	25,823	11,680	維持	1・2
5	水と緑と公園課	緑の保護と緑化の推進事業[緑化の推進]	11,763	3,453	8,311	維持	1・2
6	水と緑と公園課	緑の保護と緑化の推進事業[こだいら名木百選]	3,046	800	2,246	維持	1・2
7	水と緑と公園課	グリーンフェスティバル事業	2,395	1,421	973	維持	1・2
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
合計			334,861	288,142	46,719		

5 貴重な緑を生み出す

事務事業評価票

事務事業コード	081105	会計	一般	予算科目	8-3-3	事業名	公園の維持管理事業				
担当課	水と緑と公園課		事業開始年度			[実施の形態]	委託		[実施の根拠]	法(義務あり) [主体の多様性] 市のみ実施	
目的	公園の適正管理に努める。										
対象	市内の都市計画公園 (36公園) 及びその他の条例公園 (279公園)							対象数 315公園			
平成30年度の事業内容	市立全315公園について清掃等の維持管理を行った。なお、平成30年度においては、樹木剪定は152公園、施設等の修繕は148公園で実施した。										
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト			H28年度	H29年度	H30年度	評価	
総コスト(千円)	280,128	328,976	259,734	① 市立公園数	目標値	304	307	313	達成		
経費	事業費	261,670	310,246		241,017	実績値	307	313			315
	人件費	18,458	18,730	18,718	(単位) 公園	達成率	101.0%	102.0%	100.6%		
財源	国都支出金	0	9,230	1,796	② 単位あたりコスト	千円	912	1,051	825	効率性	
	その他	13,482	51,880	11,758		増減率	—	15.2%	-21.5%	上がった	
	一般財源	266,646	267,865	246,181	令和元年度の 予算・事業		維持				
職員・再任用(人)	2.50	0.00	2.50	0.00	2.50	0.00					

1

事務事業コード	081106	会計	一般	予算科目	8-3-3	事業名	緑道の整備と維持管理事業				
担当課	水と緑と公園課		事業開始年度			[実施の形態]	委託		[実施の根拠]	市条例 [主体の多様性] 国・都でも実施	
目的	市民が安心して利用できる緑道づくりを行う。										
対象	野火止用水・玉川上水・草花街道の緑道							対象数 201,782㎡			
平成30年度の事業内容	玉川上水緑道の植生管理、フットライトの維持管理及び野火止用水緑道の清掃・植生管理、松枯れ防止保全管理を実施した。緑道の整備では、玉川上水緑道において、茜屋橋から小金井橋の左岸で段差解消工事を行った。また、草花街道緑道において、緑道に生育している植栽の伐採及び剪定、草刈及び清掃等を実施した。										
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト			H28年度	H29年度	H30年度	評価	
総コスト(千円)	16,925	17,133	15,150	① 維持管理面積	目標値	201,782	201,782	201,782	達成		
経費	事業費	13,455	13,686		11,557	実績値	201,782	201,782			201,782
	人件費	3,470	3,446	3,594	(単位) ㎡	達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
財源	国都支出金	3,925	3,910	3,957	② 単位あたりコスト	円	84	85	75	効率性	
	その他	560	0	0		増減率	—	1.2%	-11.6%	上がった	
	一般財源	12,440	13,223	11,193	令和元年度の 予算・事業		維持				
職員・再任用(人)	0.47	0.00	0.46	0.00	0.48	0.00					

2

事務事業コード	081107	会計	一般	予算科目	8-3-3	事業名	公園整備事業				
担当課	水と緑と公園課		事業開始年度			[実施の形態]	直営		[実施の根拠]	法(義務なし) [主体の多様性] 市のみ実施	
目的	既存公園の機能回復及び充実化並びに新設公園の検討及び整備を行う。										
対象	市立公園							対象数 315公園			
平成30年度の事業内容	鷹の台公園 (小平都市計画公園3・3・4号) の用地取得に伴う不動産 (土地) 調査意見書を作成した。また、小平グリーンロードに近い東部公園のグラウンド整備及びバリアフリー化を実施した。										
財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト			H28年度	H29年度	H30年度	評価	
総コスト(千円)	36,403	5,166	5,270	① 整備公園数	目標値	1	1	1	達成		
経費	事業費	35,074	4,042		4,072	実績値	1	1			1
	人件費	1,329	1,124	1,198	(単位) 公園	達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
財源	国都支出金	21,000	686	3,981	② 単位あたりコスト	千円	36,403	5,166	5,270	効率性	
	その他	0	0	0		増減率	—	-85.8%	2.0%	変わらず	
	一般財源	15,403	4,480	1,289	令和元年度の 予算・事業		維持				
職員・再任用(人)	0.18	0.00	0.15	0.00	0.16	0.00					

3

事務事業評価票

4	事務事業コード	081108-1	会計	一般	予算科目	8-3-3	事業名 緑の保護と緑化の推進事業〔緑の保護〕					
	担当課	水と緑と公園課		事業開始年度			〔実施の形態〕	補助	〔実施の根拠〕	市条例	〔主体の多様性〕	市のみ実施
	目的	今ある緑を良好な状態で保全し、自然環境の維持を図る。										
	対象	保存樹木・樹林・竹林・生垣及び当該所有者、保全活動参加者等									対象数	1,201本
	平成30年度の事業内容	保存樹木の剪定に対する補助、保存樹林・保存竹林に対する固定資産税及び都市計画税の非課税措置及び維持管理補助、保存生垣に対する維持管理補助、保存樹木等に係る賠償責任保険への加入、保存樹林保全活動等の参加者の行事保険への加入、森のカルテづくりアドバイザー等への謝礼等を行った。(平成30年度末 保存樹木本数1,201本)										
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価		
	総コスト(千円)	38,551	38,601	37,502	① 保存樹木 剪定本数	目標値	70	70	60	おおむね達成		
	経費	事業費	26,738	26,389		25,823	実績値	40	55			54
		人件費	11,813	12,212	11,680	(単位) 本	達成率	57.1%	78.6%	90.0%		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	* 128	* 110	* 114	効率性	
その他		7,743	7,859	7,859	増減率		—	-14.1%	4.0%	変わらず		
	一般財源	30,808	30,742	29,644	令和元年度の 予算・事業		維持					
職員・再任用(人)	1.60	0.00	1.63	0.00	1.56	0.00						

5	事務事業コード	081108-2	会計	一般	予算科目	8-3-3	事業名 緑の保護と緑化の推進事業〔緑化の推進〕					
	担当課	水と緑と公園課		事業開始年度			〔実施の形態〕	補助	〔実施の根拠〕	市要綱等	〔主体の多様性〕	市のみ実施
	目的	新たな緑を創出し、自然環境の向上を図る。										
	対象	市民、小平市緑と花いっぱい運動の会等									対象数	
	平成30年度の事業内容	生垣造成に対する補助、小平市緑と花いっぱい運動の会に対する補助、小平市緑化推進委員会の運営(委員謝礼)、市民が自宅の庭やベランダでビオトープを創出できるよう公募市民への促進リーフレット及び苗木の配布、みどりの相談員への謝礼等を行った。(生垣造成延長 140.9m)										
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価		
	総コスト(千円)	70,510	11,688	11,763	① 補助金交付 申請件数	目標値	15	10	10	おおむね達成		
	経費	事業費	61,650	3,147		3,453	実績値	8	7			9
		人件費	8,860	8,541	8,311	(単位) 件	達成率	53.3%	70.0%	90.0%		
	財源	国都支出金	8,253	327	520	② 単位あたり コスト	千円	* 310	* 226	* 234	効率性	
その他		45,000	0	0	増減率		—	-27.2%	3.8%	変わらず		
	一般財源	17,257	11,361	11,243	令和元年度の 予算・事業		維持					
職員・再任用(人)	1.20	0.00	1.14	0.00	1.11	0.00						

6	事務事業コード	081108-3	会計	一般	予算科目	8-3-3	事業名 緑の保護と緑化の推進事業〔こだいら名木百選〕					
	担当課	水と緑と公園課		事業開始年度	平成24年度	〔実施の形態〕	直営	〔実施の根拠〕	市要綱等	〔主体の多様性〕	市のみ実施	
	目的	名木の保全を図り、緑の保護と緑化の推進に関する市民の意識を啓発する。										
	対象	市民									対象数	193,588人
	平成30年度の事業内容	名木の剪定に対する補助金の交付を実施し、名木の保全を図った。また、昨年度に引き続き、市内公共施設でこだいら名木百選を紹介するガイドマップを配布した。										
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価		
	総コスト(千円)	1,062	909	3,046	① 名木の 剪定本数	目標値	15	8	5	達成		
	経費	事業費	324	160		800	実績値	0	2			10
		人件費	738	749	2,246	(単位) 本	達成率	0.0%	25.0%	200.0%		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	—	455	305	効率性	
その他		0	0	0	増減率		—	—	-33.0%	上がった		
	一般財源	1,062	909	3,046	令和元年度の 予算・事業		維持					
職員・再任用(人)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.30	0.00						

5 貴重な緑を生み出す

事 務 事 業 評 価 票

7	事務事業コード	081110	会計	一般	予算科目	8-3-3	事業名 グリーンフェスティバル事業						
	担当課	水と緑と公園課		事業開始年度	平成4年度		[実施の形態]	直営		[実施の根拠]	その他 [主体の多様性] 市のみ実施		
	目的	花やみどりに親しみ、身近な緑化を進める。											
	対象	市民								対象数 193,588人			
	平成30年度の事業内容	花やみどりに関係する団体と市が運営委員会を組織し、苗木の無料配布、食物資源堆肥の無料配布、カブトムシの幼虫無料配布、種苗交換会、各種体験（巣箱づくり、クイズ、クラフト、押し花、ブーケづくり等）、小平産の農作物及び草花、飲食物の販売、ステージイベント等を実施した。 (平成30年度 グリーンフェスティバル 来場者数 約6,200人)											
	財務内容	H28年度	H29年度	H30年度	活動指標 活動単位コスト		H28年度	H29年度	H30年度	評価			
	総コスト(千円)	2,455	2,613	2,395	① 参加団体数	目標値	26	26	26	おおむね達成			
経費	事業費	1,348	1,490	1,421		実績値	25	27	24				
	人件費	1,107	1,124	973	(単位) 店	達成率	96.2%	103.8%	92.3%				
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	98	97	100	効率性			
	その他	0	0	0		増減率	—	-1.4%	3.1%	変わらず			
	一般財源	2,455	2,613	2,395	令和元年度の 予算・事業		維持						
職員・再任用(人)	0.15	0.00	0.15	0.00	0.13	0.00							